
平成31年度中心市街地活性化支援人材育成事業 (中心市街地活性化普及促進事業)

報告書

2020年3月

株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部

目次

事業の全体像

座学研修Ⅰ

座学研修Ⅱ：次世代会議

現地研修Ⅰ：インターンシップ型現地研修

現地研修Ⅱ：課題解決型現地研修

まちづくりオープン会議

ポータルサイトの運営／維持・管理

まちづくり成功事例の調査・要因分析

委員会の開催

事業の全体像

本事業の目的（仕様書からの抜粋）

- 中心市街地活性化をはじめとするまちづくりでは、産学官金労言等を含めた多様な主体の参画、連携、協働のもと、まちを経営するという視点にたって、まちを牽引し、プロデュースする組織や人材が不可欠であり、地域自らが、このような組織・役割の一翼を担うリーダー人材を育成することや確保することが重要である。
- 本事業では、地域における人材の育成・確保の一助となるよう、まちづくりの人材を育成するための研修、シンポジウムの開催等を行うとともに、関連サイトに、まちづくり関連イベント、取組事例、調査・統計データ、施策動向等を掲載し、まちづくりにとって有益な情報の集約、発信、交換等の場の提供を行うものとし、これらを通じ、中心市街地及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。

本年度実施した事業内容の一覧

■ 本事業の背景と目的を踏まえ、本年度は、以下の事業を実施した。

■ まちづくり人材育成研修

- 座学研修(Ⅰ)
- 座学研修(Ⅱ):次世代会議
- 現地研修(Ⅰ):インターンシップ型現地研修(および事後集合研修)
- 現地研修(Ⅱ):課題解決型現地研修
- まちづくりオープン会議

■ 委員会の開催

■ ポータルサイト(街元気サイト)の維持・管理・運営

- 研修、シンポジウム等の情報発信
- 研修、シンポジウム等のレポートと資料の掲載
- まちづくりに関する政策等の情報提供
- マチイベ(街のイベント情報)への登録
- 統計情報の整理

■ まちづくり成功事例の調査・要因分析

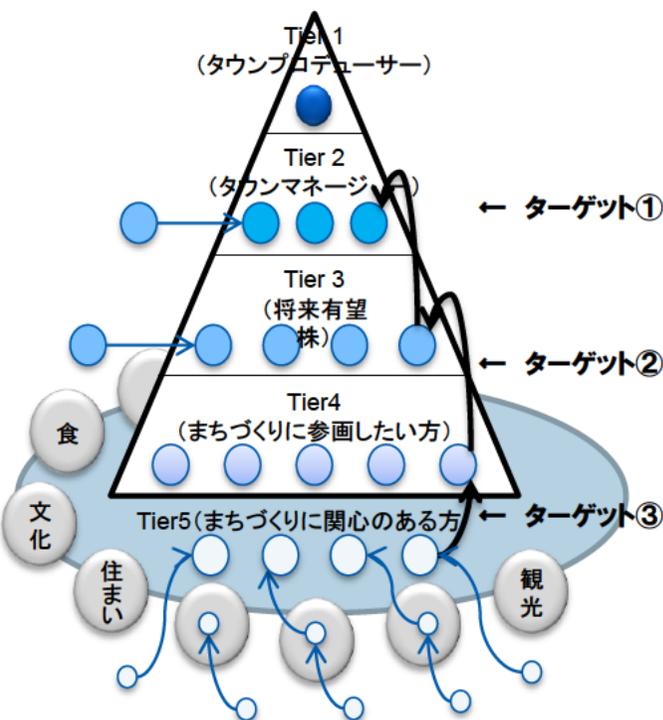
■ 事業の効果測定

昨年度レビューと事業のKPIに対する実績

- 昨年度は、研修事業の充実を図り、タウンマネージャー等の育成を進めてきた。また、HPやSNSをフックにまちづくりに漠然と関心のある層を拡大してきた。
- さらに、本年度は、全国TM協会との連携のもと、より、実効性の高い研修を検討・実施した。

H26年度実績 H27年度実績 H28年度実績 H29年度実績 H30年度実績 H31年度実績

インターン型現地研修	16人(5地域)	17人(5地域)	14人(6地域)	20人(5地域)	9人(2地域)	14人(5地域)
フォローアップ研修	3人(3地域)	6人(4地域)	5人(4地域)	2人(2地域)	1人(1地域)	0人(0地域)
まちげんきフェス	10地域	16地域	20地域	—	—	—
次世代会議	—	—	10人	9人	15人	11人
特定テーマ型研修	84人(9地域)	50人(6地域)	65人(4地域)	62人(4地域)	67人(5地域)	46人(3地域)
座学研修	41人(1地域)	283人(2回)	268人(2回)	244人(2回)	320人(3回)	88人(1回)
オープン会議	236人(2回)	130人(1回)	95人(1回)	140人(2回)	87人(1回)	78人(1回)
会員数	5,529人	5,732人	5,891人	5,977人	6,092人	6,155人
Twitterフォロワー	996人	1,130人	1,270人	1,383人	1,421人	1,445人
HP月間訪問数	3.5万人(PV:15.9万)	3.5万人(PV:17.3万)	3.6万人(PV:20万)	4.4万人(PV:24万)	3.9万人(PV:20万)	3.2万人(PV:19万)
FBいいね!(全体)	—	1,302人	2,230人	2,519人	2,683人	2,740人
FBフォロワー(全体)	—	—	—	2,537人	2,728人	2,830人



(1)まちづくり人材育成研修 ①座学研修(Ⅰ)

座学研修の概要

■ 座学研修の実施概要

- 日時: 令和元年10月16日(水)～10月17日(木) ※2日間
- 場所: CIVI研修センター日本橋クアトロ室町ビル4・5・6F (CIVIフロント4階)

■ 参加者の受講満足度向上に向けた、プログラム構成上の配慮

- 昨年度と同様、基本的に一コマ70分程度で実施。
- 座学研修は、まちづくりの現状分析、課題発見から、ハード・ソフト事業の進め方等、**体系的に学ぶ講義**を実施した。
 - ・ 過年度の研修では、「初級」「中級」に分けて実施したが、初級と中級で意図した集客に結びつかなかった。その反省を活かし、今年度は**テーマ設定を明確にして実施**することに配慮した。
 - ・ 今年度のテーマは、昨年度委員会で「**今日的な課題への対応(先進技術など)**」と「**実行力の強化**」をテーマとすべき点が指摘されたことを踏まえ、《まちづくりの今日的課題への処方箋》をテーマに設定した。
 - ・ 講師については、以下のような視点で招聘することを検討した
 - 「今日的な課題への対応」
 - ・ ①地域の現場で活躍しており、②キャッシュレス化や企業連携、新事業形成など、まちづくりの今日的課題に携わる方々
 - 「実行力の強化」
 - ・ ①過去、街元気研修に参加し、②今も地域の現場で活躍している方々

■ 告知の実施

- 街元気サイト、メルマガ、SNSの他、各組織(自治体、商工会議所、まちづくり会社等)、過去の街元気研修参加者に対して書面にて郵送案内。
- 書面には当日のタイムスケジュールを加筆するなどサイトアクセスの誘引を図った。

座学研修

座学研修:プログラム

時間	内容
12:00-	開場・受付開始
13:00- 13:10	開会挨拶（経済産業省） 中心市街地活性化室長 井上哲郎 氏
13:10- 14:25	「まちなかにおける新しい事業のつくり方」 株式会社街制作室 プロデューサー 渋谷 正明 氏
14:30- 15:40	「公共空間における低未利用地の活用」 草津まちづくり株式会社 マネージャー 辻 信一 氏
16:00- 17:15	<掛け算トーク：キャッシュレス × まちづくり> 【基調講話】 「地域活性化に向けたキャッシュレスの活用」 一般社団法人キャッシュレス推進協議会 事務局長 福田 好郎 氏 【パネルディスカッション】 一般社団法人キャッシュレス推進協議会 事務局長 福田 好郎 氏 金沢商業活性化センター 常務執行役員 高本 泰輔 氏 株式会社まちづくり松山 代表取締役社長 加戸 慎太郎 氏
17:15- 17:30	クロージング

時間	内容
09:00-	開場・受付開始
09:10- 10:20	<掛け算トーク：企業 × まちづくり> 基調講話 「IT企業の地方移転～日南に立地した企業の視点～」 株式会社油津応援団 取締役 木藤 亮太 氏 パネルディスカッション 株式会社油津応援団 取締役 木藤 亮太 氏 ポート株式会社日南オフィス 拠点長 東 瑤子 氏
10:25- 11:35	「まちの変革手段としてのマーケット」 O+Architecture 代表 鈴木 美央 氏
11:35- 12:40	お昼休憩
12:40- 13:15	「県庁移転危機からのまちの強み・特徴を活かしたまちづくり」 長崎つきまち株式会社 タウンマネージャー 高木 弘美 氏
13:20- 13:55	「長野駅周辺のまちづくりについて ～ `まちげんき、研修を活かすアウトカムへの取り組み～」 長野市南石堂町商店街振興組合事務局 兼 シナノ未来プロジェクト 事務局長 宮下 佳隆 氏
14:00- 14:45	パネルディスカッション 長崎つきまち株式会社 タウンマネージャー 高木 弘美 氏 長野市南石堂町商店街振興組合事務局 兼 シナノ未来プロジェクト 事務局長 宮下 佳隆 氏
14:45- 14:50	クロージング

- 座学研修は、まちづくりの専門家を講師として、まちの現状分析から課題の発見、ハード・ソフト事業の進め方等、まちづくりに関する様々なノウハウを広く体系的に学ぶ機会です。今年度は10月16日(水)～17日(木)の2日間、東京で開催しました。
- 今回の研修の座学研修のテーマは、「まちづくりの今日的課題への処方箋」。地域活性化のための先進的な仕掛けを幅広く学び、地域のまちづくりに携わるプレイヤーや支援機関、企業、まちづくり関係者の出来ることについて、考えることをテーマとして開催しました。
- 当日のプログラムと概要は、下記の通りです。

【10月16日(水)】

- 講演:「まちなかにおける新しい事業のつくり方」
株式会社街制作室 プロデューサー 渋谷 正明 氏



- 全国各地で、商業施設を中心に多くの人を惹きつける魅力的な集客交流空間のプロデュースに取り組んできた、株式会社街制作室の渋谷正明プロデューサーに、「まちなかにおける新しい事業のつくり方」と題して講義して頂きました。
- 沖縄における「国際通り屋台村」「ウミカジテラス」を始めとして、全国各地における具体的な事例紹介を通じて、「明快で誰にでも伝わってぶれないコンセプトを作ること」の大切さや、それを踏まえた具体的な空間づくり、店舗構成、運営のノウハウ等について紹介して頂きました。

- 講演:「公共空間における低未利用地の活用」
草津まちづくり株式会社 マネージャー 辻 信一 氏



- 百貨店退職後に草津まちづくり株式会社で、草津川跡地公園内の店舗立上げや、草津市中心市街地公共空間賑わい創出事業を立ち上げ、まちなかの公園や広場などパブリックスペースを活用したイベントを多数仕掛けてきた草津まちづくり株式会社の辻信一マネージャーより、「公共空間における低未利用地の活用」と題して講義して頂きました。
- 中心市街地活性化基本計画を踏まえた草津まちづくり株式会社の役割、体制を踏まえて、まちづくり会社が具体的に展開している事業として、**niwa+(ニワタス)の運営、東海道・草津宿テナントミックス事業、KUSATSU COCORIVAの運営等**について説明して頂きました。

開催レポート(つづき)

■ <掛け算トーク:キャッシュレス × まちづくり>

●基調講演:「地域活性化に向けたキャッシュレスの活用」

一般社団法人キャッシュレス推進協議会 事務局長 常務理事 福田 好郎



- ・ 経済産業省を始めとする関係各省庁の合意・理解の下、日本におけるキャッシュレス(支払い方改革)の普及に向けて、産官学が連携するための中立的な推進役を担っている一般社団法人キャッシュレス推進協議会の福田好郎 事務局長 常務理事に「地域活性化に向けたキャッシュレスの活用」と題して講義して頂きました。
- ・ **我が国におけるキャッシュレスの状況、なぜキャッシュレスが必要なかを分かりやすく説明して頂くとともに、まちづくりにおける活用のあり方や課題**について、先行事例を含めて説明して頂きました。

●パネルディスカッション

◇パネリスト:

一般社団法人キャッシュレス推進協議会

事務局長 福田 好郎 氏

株式会社金沢商業活性化センター

常務執行役員 高本 泰輔 氏

株式会社まちづくり松山

代表取締役社長 加戸 慎太郎 氏

◇モデレータ:

街元気事務局

- ・ まちづくりという観点から、キャッシュレスの取組を深めるため、基調講演して頂いた福田氏に加え、地域においてキャッシュレスに取り組んでいる株式会社金沢商業活性化センターの高本泰輔常務執行役員、株式会社まちづくり松山の加戸慎太郎代表取締役社長をパネリストに迎え、街元気事務局の進行のもとでパネルディスカッションを行いました。
- ・ 始めに高本氏から金沢市の共通端末を利用した取組、加戸氏から松山市における電子マネー「マチカ (machica)」の取組を紹介して頂きました。
- ・ **様々な決済手段が存在する中で、どのような手段を選択すべきか等、キャッシュレスの浸透に向けたまちづくりの現場における課題と今後の展望**について、会場からの質問も踏まえて、様々な観点から語って頂きました。



開催レポート(つづき)

■ 【10月17日(木)】

■ <掛け算トーク:キャッシュレス × まちづくり>

● 基調講演:「IT企業の地方移転～日南に立地した企業の視点～」

株式会社油津応援団 取締役 木藤 亮太 氏



- 宮崎県日南市において2013年7月からテナントミックスサポートマネージャーとして、油津商店街の再生事業に取り組み、約4年で25を超える新規出店、IT企業誘致等を実現してきた株式会社油津応援団の木藤亮太取締役に、「IT企業の地方移転～日南に立地した企業の視点～」と題して講義して頂きました。
- 小売業が停滞する中、「ずっと人がいる街」の実現に向けて、起業や企業誘致に取り組み、十数社のIT企業の立地に成功したこと。これに伴い、保育園、ゲストハウスなど、小売業とは異なる業種を含めた、街の「リ・デザイン」につながったことについて、説明して頂きました。

● パネルディスカッション

◇ パネリスト:

株式会社油津応援団 取締役 木藤 亮太 氏

ポート株式会社日南オフィス 拠点長 東 瑤子 氏

◇ モデレータ:

街元気事務局



- 基調講演して頂いた木藤氏に加えて、ポート株式会社日南オフィスで拠点長を務める東瑤子氏を迎えて、街元気事務局の進行のもとでパネルディスカッションを行いました。
- 始めに東氏から、ポートが日南にサテライトオフィスを構えることになった経緯や、日南における業務の状況、商店街における地域との関り等についてご紹介頂きました。
- そのうえで、**当初の人材確保の取組や、ポートに立地したことのメリット・デメリット、今後の中心市街地に立地が望まれる機能、現在の課題と今後の展望**などについて、会場からの質問も踏まえて語って頂きました。

開催レポート(つづき)

●講演:「まちの変革手段としてのマーケット」

O+Architecture 代表 鈴木 美央 氏



- 英国でマーケット研究に取り組み、「マーケットでまちを変える ～人が集まる公共空間のつくり方～」(学芸出版社、第九回不動産協会賞受賞)を出版するとともに、自らの地元で Yanasegawa Market も主催する O+Architecture の鈴木美央代表に、「まちの変革手段としてのマーケット」と題して講義して頂きました。
- 建築設計からマーケット研究に飛び込んだきっかけや、自ら Yanasegawa Market を開催した経験を踏まえて、マーケットから学べる5つのヒントとして、①余白を設計して能動的な活動を引き出す、②コミュニティをケアする、③個の集合体を活かす仕組みの設計、④商いの選択で関係性のあるまちを作る、⑤公共空間が個とまちをつなぐ、という5つのポイントを説明して頂きました。

●講演:「県庁移転危機からのまちの強み・特徴を活かしたまちづくり」

長崎つきまち株式会社 タウンマネージャー 高木 弘美 氏



- 企業における10年間正社員勤務、行政・外郭団体等における観光、雇用、創業支援、NPO支援、まちづくり活動や、FM KITAQ パーソナリティ等、多様な経験を経て、現在は長崎市長崎つきまち株式会社に所属する高木 弘美タウンマネージャーから、「県庁移転危機からのまちの強み・特徴を活かしたまちづくり」と題して講義して頂きました。
- 長崎築町における具体的な取組として、築町まち歩き、築町市場土曜市場井、築町プレミアム商品券、築町べっぴん会、長崎市商店街持続化推進事業について、それぞれの考え方や、実施に当たったの創意工夫と成果等について説明して頂きました。

●講演:「長野駅周辺のまちづくりについて～ “まちげんき、研修を活かすアウトカムへの取り組み～」

長野市南石堂町商店街振興組合事務局 兼 シナノ未来プロジェクト 事務局長 宮下 佳隆 氏

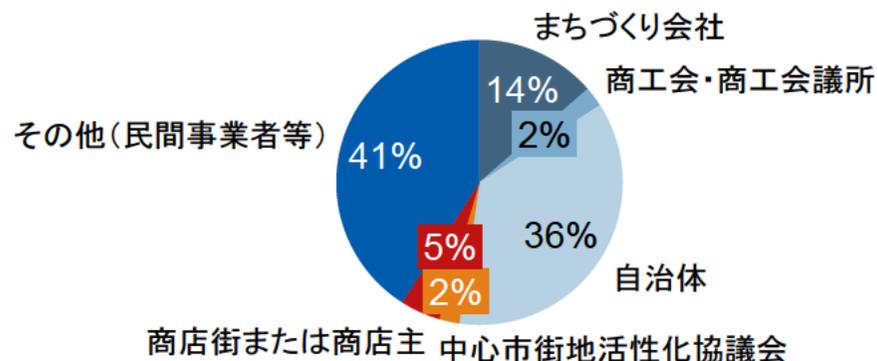


- 大手企業就職後、2018年に地元に戻り、まちづくりに積極的に関わっている宮下佳隆 長野市南石堂町商店街振興組合事務局 兼 シナノ未来プロジェクト 事務局長に、「長野駅周辺のまちづくりについて～ “まちげんき、研修を活かすアウトカムへの取り組み～」と題して講義して頂きました。
- まちづくりに関わることになった経緯について、関心を持ったきっかけ、シナノ未来プロジェクトへの参加、南石堂町商店街振興組合における取組、長野駅前における「eスポーツ」の普及に向けた企画等について説明して頂きました。街元気研修に参加した際の経験と気づきについても話して頂きました。

座学研修

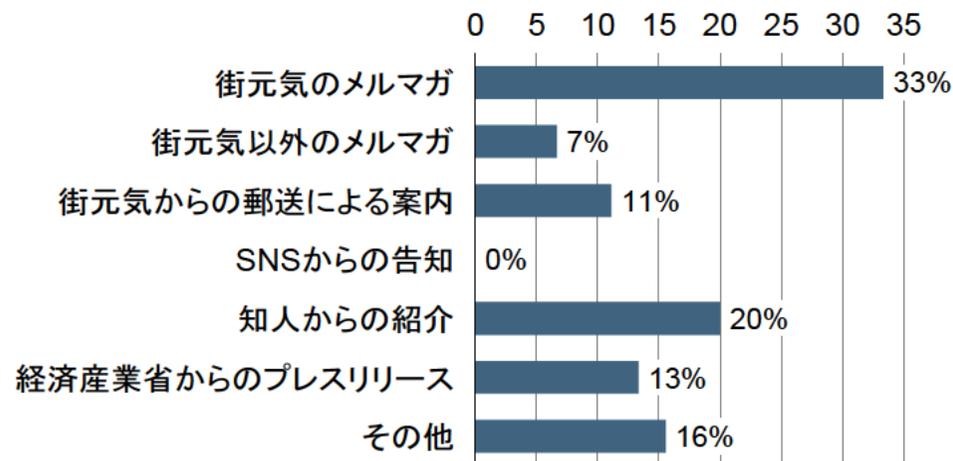
自治体とまちづくり会社の参加者が多く、年齢層も30、40、50歳代でバランスが良いことから、座学研修のターゲティングに沿った集客ができた。

回答者の属性(N=88)

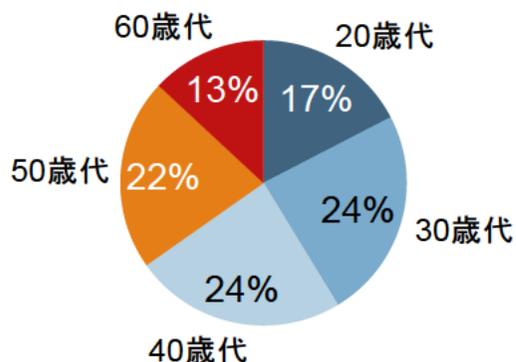


※ その他(事業者等)の内訳として、不動産デベロッパー、建設コンサルタント、地域活性化関連のコンサルタント、金融機関等があった。

座学研修を知ったきっかけ(N=88)



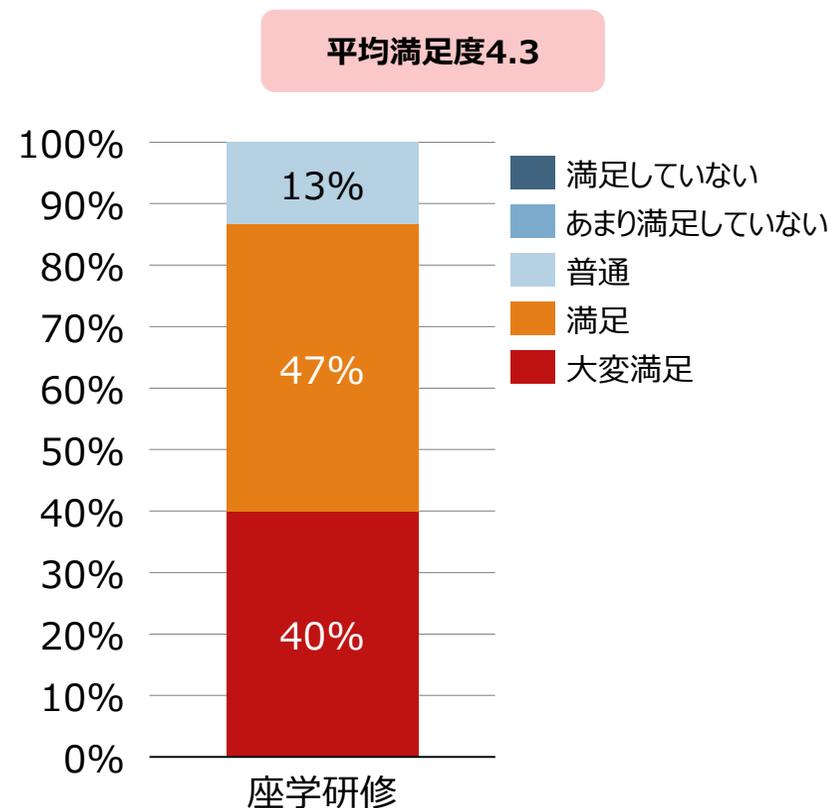
回答者の年齢(N=88)



アンケート結果:研修の満足度

■ 座学研修の満足度

- 5点満点の評価で、平均満足度は「4.3」であり、例年と同程度の満足度であった。
- まちづくりの今日的課題のテーマで、「キャッシュレス」と「企業連携」については、実際に組織のトップとして事業に携わられている方々を招聘したことで、人気の高い講座となった。特にパネルディスカッションでは、現場での事業推進上の苦労等を含め、赤裸々に議論していただいたことが、来場者の高い評価につながった。



アンケート結果：研修の満足度(研修に対する感想・意見・要望)

座学研修(初級篇)に対する感想・意見・要望

(感想)

- 地域活性化を進めていく上での「**コンセプト**」の**重要性**を感じた。また、講師の皆さまが未来に何を求めるのかの創造の中で今の取り組みをしている事に感銘を受けた。
- 従来の商店街の価値観を変えて、**現代型の商店街のスタイルを変えた事例について理解**することができた。商店街をリフォームする考え方が面白かった。
- **昔ながらの商店街のイメージに捉わられることなく、いったん白紙ベースで考えるべき**なのではないかと思う。
- **キャッシュレス時代を不安視せず、大いに活用しよう**と感じた。キャッシュレスはまちづくりの一手段であり、活用のメリット・デメリット、まだ困難な点もあること、興味深く聞くことができた。
- 公共空間を活用したマーケットは、仮設イベントの賑わいの創出ではなくインフラだという点が印象に残った。
- 「まち」や「商店街」を活性化させていくための手法は様々あるが、**どういう「まち」にしていきたいのか、何が強いのか、どこまでできるのかによって柔軟に考えていく必要がある**と感じた。
- まちの魅力づくりについて再認識した。**既存の見直しが重要であり、「ないもの探しはしない」ことが重要である**と認識した。

(意見・要望)

- 改善できること
 - **講師の事例の中には、ディベロッパーやテナント会社が聞いても参考になる話がたくさんある。まちづくりなどに携わる中小企業対象という名目は必要かもしれないが、募集する際のカテゴリーの幅を拡げたほうがよい**のではないかと。
 - **タウンマネージャー養成の色が強い**ため、もう少しターゲット層を広げても良いのではないかと。
 - 募集開始期間をもう少し長くすると良い。
 - パネルディスカッションの時間は45分だと短く感じるため、時間は長めに確保してほしい。
- 今後学びたいこと
 - まちづくり会社の組織体制
 - まちづくり会社の事業・収支状況
 - 首都圏内でのまちづくり取組事例(キャッシュレスなど)
 - 現代型の商店街の考え方
 - 空き店舗活用における物件所有者へのアプローチ方法
 - 商店街組織が多い地域の状況
- 情報提供してほしいこと
 - 視察受入可能な地域の情報

(1)まちづくり人材育成研修 ②座学研修(Ⅱ):次世代会議

■ 目的

- 中心市街地などの特定エリアの活性化及び、再生をマネジメントする専門人材としてのタウンマネージャーを育成する。
- まちづくりに従事している人材が、より高度で実践的なまちづくりのスキルや知識などを学び、自らの取り組みを振り返るとともに、ステップアップする機会を提供する。
- 昨年度は、まちづくりで多様な主体とのコミュニケーション能力の向上を図り、シミュレーションゲームを通じて、組織の経営センスや合意形成力、交渉力を高めることのできる研修を実施した。
- 今年度は、中堅人材が、共同で地域の悩みや課題解決につながる事業計画・行動計画づくりのためのワークショップを実施する。

■ 対象

- タウンマネジメントの実務に従事している方
- まちづくり会社や中心市街地活性化協議会でタウンマネージャーとしての活動が期待される方

■ カリキュラムの特徴

- 現役のタウンマネージャーが、自らの実践経験や特徴にフォーカスしてテーマを設定し、講義する。
- 現役タウンマネージャーがメンターとなり、寺子屋方式で受講生の事業計画を別の観点からみることによって、新たな気付きを得る。
- 受講者は、まちづくり組織の事業全体の戦略的整理と、個別事業双方の視点から学び、体験する。

■ 実施日時・開催場所

- 令和元年2月6日(木)～7日(金)10:00～17:30、10:00～16:00(全14時間程度のプログラム)
- 都内会議室

■ スケジュール

2月6日	講義
10:00～ 10:15	ご挨拶・オリエンテーション等 ・アイスブレイク ・参加者自己紹介及び、各地域の問題意識
10:15～ 11:15	「期待される成果から考える事業の作り方」 担当: 小口講師
11:15～ 12:15	「期待される成果から考える事業」ワークショップ
12:15～ 13:15	ランチ休憩
13:15～ 14:00	参加者自己紹介、各地域の課題説明
16:30～ 17:30	「事業主体発掘のための情報発信」 担当: 國廣講師
15:20～ 16:20	「人材獲得のためのコミュニケーション事業」 担当: 上田講師
16:30～ 17:30	「不動産オーナーとの信頼構築とリーシング実務」 担当: 石上講師

2月7日	ワークショップ
10:00～ 15:00	2コースに分かれてワークショップを実施 Aコース 「遊休不動産活用:事業の場づくりと人材マッチング」 担当: 石上講師、國廣講師 ・ビルの空床リーシング ・アキテンプ不動産の仕組み Bコース 「人材開発:事業をする人の発掘と事業をしやすい環境づくり」 担当: 上田講師、小口講師 ・100人カイギの仕組み ・ママの暮らしやすい街と仕事づくり ・事業者育成のためのセミナー事業 ・事業者発掘のためのリーディング事業 ※参加者は、グループで相談しつつ、それぞれの地域に合わせた事業計画(資金調達含む)と行動計画を作成
15:00～ 16:00	まとめ、成果発表

次世代会議 講師一覧

多治見まちづくり株式会社 ゼネラルマネージャー 小口 英二

金沢商業活性化センターにて4年間、まちづくりの仕事に携わる。平成21年より多治見市に移住し、多治見まちづくり(株)の第1号プロパー社員となり、地域の特色を活かした「カフェ温土」の事業立ち上げや商品開発など、まちづくり会社の事業や会社運営全般にわたる業務を担う。金沢と多治見の2つのまちづくり会社での勤務経験から、地域に根付いて地域の人と一緒にまちづくり事業をすることを重要性を知り、それを大事にしながら空き不動産を有効活用する取組や地域ならではの取り組みを手掛け、まちの魅力向上に努めている。



株式会社みらいもりやま21 ゼネラルマネージャー 石上 僚

民間会社での営業経験を経た後、平成21年、公募によって20代で(株)みらいもりやま21に入社。典型的な「よその・わかもの・ばかもの」として、数々の失敗を繰り返しながら、地域での実績、信頼を積み上げる。現在は同社ゼネラルマネージャーとして、飲食店(1)の直営、公共施設(2)の管理、築30年を超える区分所有再開発ビル(1)の管理運営、不動産サブリース(12)などについて経営計画からトラブル対応まで統括している。資格:宅地建物取引士など。



株式会社まちづくり寄居タウンマネージャー 上田 嘉通

早稲田大学大学院理工学研究科を修了後、海外の都市開発や、日本の島々の振興や調査・研究に携わり、人とのコミュニケーションを通じた地域づくりの実績を持つ。2018年出身地の埼玉県に帰り、株式会社小田屋設立。株式会社まちづくり寄居タウンマネージャー・一般社団法人離島総合研究所代表理事・株式会社JTB総研客員研究員などを兼任



青梅市・五日市タウンマネージャー 國廣 純子

1976年広島県生まれ。慶応大卒業後、日本銀行調査統計局を経て、都市計画・建築の分野へ進む。中国・北京の都市計画事務所で副社長を務めた後、2013年から青梅市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー。商工会議所や市、地元商業者らでつくる協議会で企画立案や事業展開のサポート役を務める。



次世代会議 開催概要



受講生で検討された事業構想

- 各受講生は、次世代会議の講義を踏まえ、事業概要/ポイント、得られる効果、ターゲット(動かすべき人)ターゲットへの働きかけ、場所、スケジュール/手順、経費の観点から、事業計画を企画した。

プレイヤー発掘事業

売店売上UP大作戦

婚活事業

次世代会議アンケート結果（参考になったこと、今後実践したいこと）

《1日目》 1. 期待される成果から考えるまちづくり事業のつくりかた（小口講師）

（参考になったこと）

- 会社・組織についての課題が非常に当てはまった。まちづくりのための事業はなく、**会社維持のための事業になってしまっているのは、事実自社がそのようになっている事に気づき**、納得した。
- 改善しないといけないと感じ、会社全体がそういう現状に気づくべきであり、またそれに気づかせるためのコミュニケーションを取るべきことに、改めて気づかされた。
- 会社では、翌年度の計画を年初に考え出すスタイルで、中・長期的な展望を視野に入れることができていない。事業の作り方として、各事業について、①まちとして必要な事業、②経験や人脈作りの糧となる事業、③会社運営の資金源となる事業として、目的に大別して事業項目を整理する考え方は参考にしたい。

（今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと）

- 「誰の何のための事業であるか」、社内全体で共有したい。現状の成果や今後見込まれる成果を共有し、現状の整理から始めていきたい。
- **事業案を一覧にまとめた事業計画表**は、一目で各事業の目的や中期的な展望、昨年との相違点が把握できる。今後事業を検討するフレームワークとして、参考にしたい。

次世代会議アンケート結果（参考になったこと、今後実践したいこと）

《1日目》 2. 事業主体発掘のための情報発信（國廣講師）

（参考になったこと）

- 情報発信の重要性と、その効果を理解できた。
- 単純にSNSで情報発信ばかりしていたが、「誰に見てほしいか」、「誰にリアクションしてほしいか」、ひいては「誰に街に関わってほしいか」を考えながら、「どういうツールを用いて発信するのが効果的か」を考えながら、情報発信している点は、非常に参考になった。
- SNS管理は手間がかかるため、FBとTwitterのみ対応してきていた。世代などによりツールの使い分けは薄々必要であるとは考えていたが、新しいツールの導入には億劫であった。FB、Twitterも週1程度の更新だが、無料で使える広告ツールであり、各SNSを使いこなし、知り合いを増やしてゆくことが事業成功への近道と感じた。

（今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと）

- 匿名でも、実名でもいいので、自身が今後取り組む事業含め、どんどん発信していきたいと感じた。
- また、関わる人に情報発信を促すことも、是非実践したいと思う。
- 高山でもまちづくり会社へ物件の問い合わせが多くあり、「アキテンポ不動産」のような事業は、地域に求められていると思われる。市外からの問い合わせが多く、情報発信の方法も、市外の方が目にするにはどうしたら良いか課題になると思う。情報発信の方法も参考に、今後始める予定のサブリース事業などに応用したい。

次世代会議アンケート結果（参考になったこと、今後実践したいこと）

《1日目》 3. 人材獲得のためのコミュニケーション事業（上田講師）

（参考になったこと）

- 「活動のハブ」ではなく、「**地域情報のハブ**」という言葉が最も参考になり、この一言に尽きる気がした。
- また、きっかけを創るのが非常に巧みで、最終的に市民に自分事として考えさせ、動かしていることは非常に参考になった。
- 「**寄居町100人カイギ**」の100人に達したら解散、という終わりがあるということと、単に講師の方に10分話してもらうという壁の低さから始めて、その後の事業に参加された方をつなげて行く事業の方法が参考になった。

（今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと）

- まず、「情報のハブ」になること。改めて世間話などを通じて多様な方とコミュニケーションに力を入れたい。
- また、**基本的に「活動のハブ」になってしまっている**ので、そこからしれっと脱却できるように、協力してくれている方がメインで動くように**シフトチェンジ**していきたい。
- 1つの事業で得られた繋がりから、次の事業へ広げられるように方法を考えたい。
- まちゼミなどを通じて、地元店舗に顔を出し、地域活動に貢献できる人や、まちを盛り上げたいと思っている人を探し出しているところである。そのような方が見つかった後、実践に移る方法などは参考にして取り入れたい。

次世代会議アンケート結果（参考になったこと、今後実践したいこと）

《1日目》 4. 不動産オーナーとの信頼構築とリーシング実務（石上講師）

（参考になったこと）

- サブリースを考えているので、オーナー、店子、自社それぞれのメリットがわかり参考になった。
- また、契約の種類と不動産業者からの指摘に対する返答なども、今後実践するための知識として非常に参考になった。
- 現在、来年度にサブリース事業を始めるか否か検討しており、非常にタイムリーな内容であった。
- 不動産事業者と違い、まちづくり会社ならではの強みなど、宅建等を所有していない弊社は事業を始めるにあたり不利で不安に思っていたが、まちづくり会社がやることのメリットも解り、事業開始の自信につながれそう。

（今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと）

- サブリースとリノベーションを検討しているので、オーナー、店子と密なコミュニケーションをとり、より取り組みの意図、メリットを理解してもらおう。
- また、まちづくり会社として行うので、一般的な仲介業者ではない、目的の部分を共有しながら、進めていきたい。
- サブリース事業を始める際には、今回学んだ大家、店子、まちづくり会社それぞれのメリットを頭に入れ、オーナーとの交渉や店子の選定に役立てたい。

（参考になったこと）

- 遊休不動産を動かすことが目的ではなく、遊休不動産を動かすことで、まちの経済や、若者人口の増加など先を見据えて、サブリース、リノベーションに取り組む必要がある。
- なんでもいいわけではなく、まち全体としてどんな機能をもたせるのか、どういうまちを描くのが重要ということは参考になった。

（今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと）

- 単にサブリースするのではなく、入ったテナントのコミュニティをつくることや、次に繋がる取り組みを考えて行動したい。
- また、リノベーションにかかる費用に関しても、なるべくリスクを減らすために、借りれる場所、地域のバックアップなども検討しながら事業に取り組みたい。

次世代会議アンケート結果（参考になったこと、今後実践したいこと）

《2日目》 6. ワークショップ Bコース 人材開発:事業をする人の発掘と事業をしやすい環境づくり（上田講師・小口講師）

（参考になったこと）

- 講師の上田さん、小口さんのほか、同じくチームでワークショップに参加された篠川さん、佐藤さんも大規模なイベント事業を何度も実施された経験がある。事業案として発表したイベントの実施について、ご自身の経験から、様々な人をイベントへ巻き込む方法や方なアドバイスをいただくことができ、参考になった。

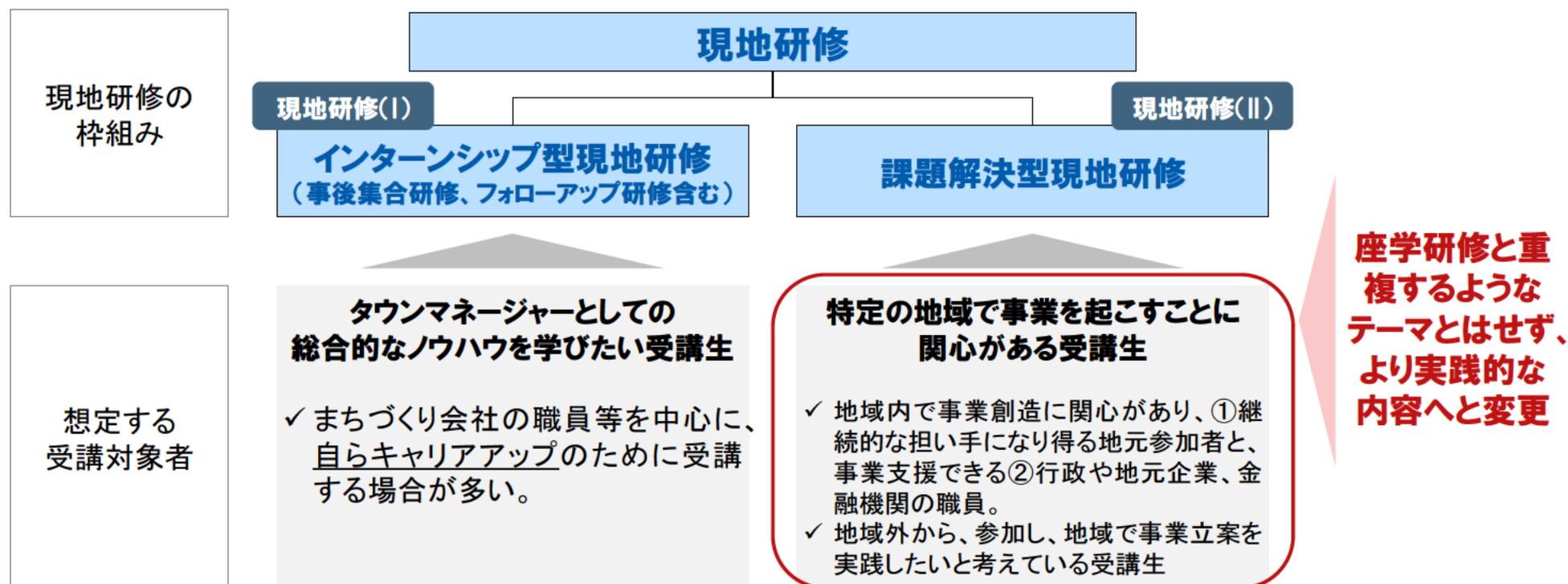
（今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと）

- 以前実施したイベントが大きくコケた原因は、告知不足と何もかも1人でやろうとしたところだと分析できた。
- 開催地域を見直し、市が力を入れている地域で実施することで、各所からの人員や告知などの協力を得られやすいと課題が見つかった。この課題認識を踏まえて、実践していきたい。
- また、街には周辺観光スポットへのツアー業者が点在しており、それらの方と連携を図りながら発信力を強化したい。

(1)まちづくり人材育成研修 ③現地研修

現地研修の位置づけ

- 現地研修は、まちづくりの中核人材の育成や、まちづくりにかかる特定分野の専門知識の深化をねらいとして、全国各地の先進的なまちづくり会社等における実務体験の機会を提供する研修である。
- これまでは、(1)タウンマネージャーとしての総合的なノウハウを学びたい受講生向けの「インターンシップ型現地研修」、(2)特定テーマの課題に関心がある受講生向けの「特定テーマ型現地研修」の2本立てであった。
 - ただし、(2)特定テーマ型研修は、座学研修の内容でもカバーできる部分が多く、座学研修との重複感もあった。
 - そのため、従来の特定テーマ型研修は、今年度からは座学研修に組み込み、取り扱うことにする。
- 今年度は、インターンシップ型研修を過年度の研修を踏襲しつつ実施し、昨年度TM協会との協働により、新たに試行開始した「地域固有の課題解決型現地研修」を実施した。



インターンシップ型実地研修の実施

■ インターンシップ型実地研修の特徴

- まちづくりの先進地域において、経験豊富なタウンプロデューサーの指導のもと、現場の実務・体験を通して、実践的なまちづくりの考え方や手法を少人数でじっくり学ぶことができる。

■ インターンシップ型実地研修の実施概要

日程	受入地域	受入機関及び研修講師	参加人数
10月9日(水)－ 10月11日(金)	2泊3日 北海道 富良野市	「ふらのマルシェの挑戦」 ふらのまちづくり株式会社 代表取締役社長 西本 伸顕 氏	1名
10月30日(水)－ 11月1日(金)	2泊3日 山形県 山形市	「地域資源の活用・エリアリノベーションによるまちづくり」 山形エリアマネジメント協議会 事務長 佐竹 優 氏 山形県七日町商店街 事務局長 下田 孝志 氏 山形エリアマネジメント協議会運営コーディネーター まちづくりプラン研究所 代表 牧 昭市 氏	3名
11月25日(月)－ 11月27日(水)	2泊3日 東京都 青梅市	「創業支援と空き店舗活用によるまちづくり」 青梅市 タウンマネージャー 國廣 純子 氏	5名
10月29日(火)－ 10月31日(木)	2泊3日 滋賀県 守山市	「中心市街地活性化とTMの役割」 株式会社みらいもりやま21 マネージャー 石上 僚 氏	2名
11月27日(水)－ 11月29日(金)	2泊3日 山口県 周南市	「自走するまちを支えるまちづくり会社の意義」 株式会社まちあい徳山 代表取締役 河村 啓太郎 氏	3名

インターンシップ型実地研修の実施

■ インターンシップ型実地研修の受講者の特徴

- 参加者は14名(富良野市1名、守山市2名、山形市3名、青梅市5名、周南市3名)
- 所属はまちづくり会社10名、企業2名、公共施設関連1名、地元参加者1名であった。
- このうち企業からの参加者は、まちづくりと絡めた本業の発展を検討する、不動産コンサルタントと、空間やイベントのデザインを手掛ける企業の代表者の方であった。
- 公共施設関連の参加者は、地域活性化関連の取組をされ、研修で得た知識を地域で活かしたいという方であった。

インターンシップ型実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(北海道・富良野市)

プログラム

日程	時間	内容
1日目	16:00-16:30	ふらのまちづくり(株)集合 イントロダクション 自己紹介
	16:30-18:00	中心市街地視察
	19:00-	フラノマルシェ慰労会に出席し食事兼懇親会 ①
2日目	9:30-11:30	まちづくりの沿革と戦略 ・まちづくりの沿革 ・中心市街地活性化に向けた戦略策定 ・先導事業としてのフラノマルシェ ・取組の効果 ・Q&A
	11:30-13:30	昼食&視察
	13:30-17:30	活性化に資する中核事業の作り方 ・フラノマルシェ I & II ・コンシェルジュフラノ ・Q&A 行政との連携の在り方 まちづくり会社の体制づくり ・まちづくり会社の組織とマネジメント ・次代の担い手づくり ・Q&A
	19:00-	中活活性化会議メンバーとの夕食兼懇親会 ②
	9:30-11:30	ワークショップ的取りまとめ ・富良野で学んだこと ・富良野への提言 ・自分達のまちでの応用 ・Q&A
3日目	11:30-12:00	修了式
	12:00	解散

参加者コメント

- 富良野市のこれまでのまちづくりの歩みから話題となっているフラノマルシェ、それに続く市街地再開発についてのお話しや、域内商品券の有効的な活用方法、みんなに応援してもらうためのまちづくり会社の資本金の捻出方法、まちなかへの回遊性を増加させる方法などたくさんのヒントやアイデアをいただきました。
- まちづくり会社としての立ち位置、各種事業の推進方法、携わるすべての方の意識改革といった、弊社としても直面する課題に対する内容が多々あり非常に有意義でした。また身近にある問題に対しての解決の糸口がつかめたことも良かったと思います。
- 参加者同士のディスカッションの時間がもっと欲しかったです。じっくりとお互いの立場を踏まえた考え方や実行している事柄などを詳しく議論できる場があればさらに良い研修になると感じます。

受入先コメント

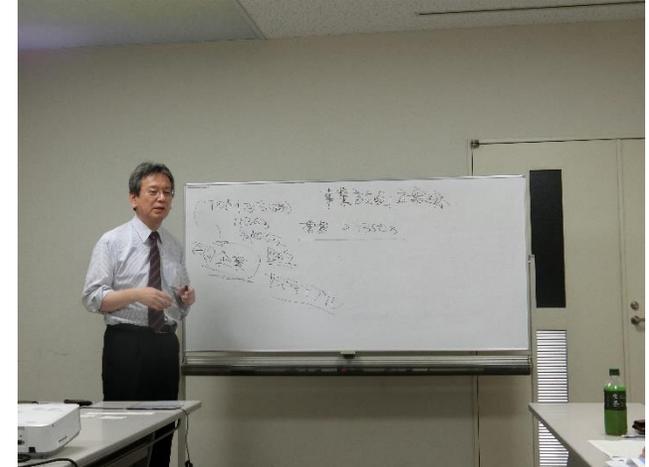
- フラノマルシェ、フラノマルシェ2に続き、2018年にコンシェルジュフラノがオープンし、変化を遂げている状況を見てほしい。
- ちょうどこの時期に開催されるフラノマルシェの慰労会にも参加していただき、いろいろな関係者が関わって運営しているところも見たい。

事務局コメント

- それぞれ特色のある講師陣から個別に話を伺うことができる貴重な機会となった。さらに現場の視察、慰労会の場に参加し様々な関係者の存在を体感することで、基本的には民間の視点から展開しているまちづくりの考え方や運営方法を体感できる研修となった。
- 充実したプログラムであり、事前の各所への働きかけにも関わらず、参加者が1名だったことが残念だった。議論する場がもっと欲しかったという、受講生の意見の一因にもなったと考えられる。

インターンシップ型実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(北海道・富良野市)



インターンシップ型実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(山形県・山形市)

プログラム

日程	時間	内容
1日目	13:20-14:30	山形市における中心市街地活性化の取組について
	14:30-17:00	山形市中心市街地ランドデザインの策定について ・ランドデザインの概要について ・まちづくりの現状と課題 ・エリアマネジメントとゾーニング ・山形エリアマネジメント協議会について ・Q&A
	18:00 -	交流会①
2日目	9:30 - 12:00	中心市街地視察 ・これまでの活性化に向けた取組 ・課題地区
	12:00 - 14:00	昼食&視察
	14:30 - 17:00	七日町商店街のまちづくりとまちづくり会社について ・商店街の組織マネジメント ・ハード・ソフト事業の組成と外部連携 ・担い手づくり ・まちづくり会社の体制づくり ・まちづくり会社の事業展開 ・Q&A
	18:00 -	交流会②
3日目	9:30 - 11:00	研修参加者の都市における現状分析と活性化の方向性について ・各都市の現状と課題 ・各都市の活性化の方向性 ・Q&A
	11:00-11:30	総括的なフリートーク ・山形市で学んだこと ・山形市への提言 ・自分達のまちでの応用 ・Q&A
	11:30 - 12:00	修了式 アンケート記入
	12:00	解散

参加者コメント

- 実際に現地に行かないとわからないことがたくさん拝見出来たのが一番の収穫でした。経験談やご苦労されたことなど、生身の内容が多かったので、とても勉強になりました。
- 一つの市をピックアップすることで、受講者側も深くまで切り込んだ内容を学ぶことができた。いくつもの自治体を同時に学ぶとなると難しいことだと思うので、とても良かった。
- 再開発が進み、ハードが大きく変化しているの是一目瞭然ですが、組織再生や人材育成などソフトの構築・醸成が進んでいてとても進化しているように感じました。市役所の佐竹さん、現場の下田さん、そして牧さんが、虫の目、鳥の目、魚の目で常に状況を確認しながら前進しているからこそ、できたのではないかと感じました。
- なんとなく、「いつメン(いつものメンバー)」の街づくり屋さんたちが「ヤァヤァ」と集まって機会を享受しているような印象は否めませんでした。必ずしも「街づくりインターン」としてではなく、もっとオープンな「体験」の場として間口を広げて、「結果として」街づくり、関係人口の増加に繋がる仕組みがあれば、きっと若い方達も積極的に参加されると思いました。

受入先コメント

- 慣れていないこともあり、講師として試行錯誤した面もあった。他地域の人たちと意見交換できたことはよかった。
- 要望を受けてフォローアップを行いたい。

事務局コメント

- 参加者コメントにもあるように、行政の佐竹氏、商店街の下田氏、まちづくりコンサルタントの牧氏という異なる立場にいる3人の話が聞けたことで、まちづくりを立体的に理解する場になったと考えられる。
- 顔見知りが多かったため、やや内輪の会の雰囲気が出てしまった点は反省事項である。

インターンシップ型実地研修 実施結果(山形県・山形市)



インターンシップ型実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(滋賀県・守山市)

プログラム

日程	時間	内容
1日目	16:00-16:30	株式会社みらいもりやま21集合 イントロダクション 自己紹介
	16:30-18:00	中心市街地視察
	18:30-	地元を含む夕食兼懇親会 ①
2日目	9:30-11:30	まちづくりの沿革とまちづくり会社 ・まちづくりの沿革 ・まちづくり会社の事業展開 ・取組の効果 ・Q&A
	11:30-13:30	昼食&視察 ・みらいもりやま テナント
	13:30-18:00	活性化に資する中核事業の作り方 ・指定管理事業 ・サブリース事業 ・飲食事業 ・業務委託事業 ・Q&A 行政との連携の在り方 まちづくり会社の体制づくり ・まちづくり会社の組織とマネジメント ・次代の担い手づくり ・Q&A
	18:30-	地元を含む夕食兼懇親会 ②
	9:30-11:30	ワークショップ的取りまとめ ・守山で学んだこと ・守山への提言 ・自分達のまちでの応用 ・Q&A
3日目	11:30-12:00	修了式
	13:00	解散

参加者コメント

- まちづくり会社の運営の現場を巡りながら、実務における工夫や苦労・課題を直接伺うことが出来たこと、日常の業務の一端を見ることが出来たこと等ができて良かった。
- まちづくり会社の系譜をまとめた資料をいただき、自分の組織の今後の展開を組み立てていく中で大変参考になった。
- まちづくり会社としての新規事業の作り方から人材の確保の一覧を垣間見れた。火まつり交流館の飲食事業で自社で行っていてそこを若手の人材に任していることなど、まちづくり会社の運営を学ぶ貴重な体験となった。自社で火まつり交流館の飲食事業を展開しているという点で参考になった。まちづくり会社としてリスクをとって事業を行っていることは非常に攻めていると感じた。
- より広く告知を行い参加者が増えると横のつながりもうまれて良いと思いました。

受入先コメント

- 現地を回り具体的な活動を見るなかで、気づきを得ていただければよかったと思う。
- 要望を受けてフォローアップを行いたい。

事務局コメント

- 具体的な現地を回りながら、解説していただくことで、事業づくりのポイント、人間関係の形成等、まちづくりの現場イメージをしっかりと持つことができた。
- まちづくり会社の社長に、交流会に参加して頂き、お話を伺いする中で、まちづくり会社による活性化の取組の考え方、石上講師への期待、信頼の厚さを改めて確認できた。施設運営者を含めて、まちづくり会社の社長、マネージャー、現場担当者の役割を考えるきっかけになったと考えられる。

インターンシップ型実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(滋賀県・守山市)



インターンシップ型実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(東京都・青梅市)

プログラム

日程	時間	内容
1日目	11:30-13:00	・集合、昼食、自己紹介
	13:00-16:30	・関係者紹介 ・青梅市中心市街地の推進状況 ・中心市街地活性化協議会の機能(行政、会議所連携) ・街中視察
	16:30-17:15	・まちづくり青梅の経営について ・アキテンポ不動産、サブリース開発のスキーム解説
	17:15-18:00	・【市民活動】: チーム澤乃井(ご当地グルメを作らないでPRする街中連携事業)
	18:00-	・交流会(クラフトビール青梅麦酒)
2日目	9:30-10:30	・青梅駅前再開発事業の進捗状況について
	10:30-12:00	・青梅市内の広域観光拠点の視察 ・青梅時間の事業説明 ・小澤酒造
	13:00-17:15	・【多角経営】: 青梅織物組合映画館プロジェクト ・【企業連携】: at.Ome(海外広報) ・【多角経営】: レンタルカフェころん、おうめシネマ(創業の間口を広げる場づくり) ・【市民活動】: 青梅シネマ倶楽部(映画と街中連携、文化事業) ・【企業連携】: 青梅信用金庫 まちづくりファンド、FAAVO(まちづくり事業と金融) ・おうめマルシェの運営
3日目	9:30-10:15	・青梅創業支援センターbeginの取組
	10:15-11:00	・合意形成に効果的な事業とロードマップづくり

参加者コメント

- 市の事業や中活計画の視察等では一般に行政等の組織目線での説明になることが多い。今回の研修では、まちの人の声や現場でまちづくりに関わるコアな方々の生の声を聞くことができ、「本来聞かなくてはいけない声は現場にある」ということや、それを聞いた上で「どう行政等の組織と事業を組み立てていくか」という具体的な流れを知ることができた。
- 様々な角度から、地域活性の活動をされている方々の事例を知り、交流が持てたことが良かった。さらに、リノベーションした施設や店舗の見学、有形文化財の有効活用プランは興味深く、コラボレートできそうな企画をご提案したいと考えた。
- 今回の研修は事業者による活動事例の講義や施設・店舗めぐりが中心だったため、テーマを決めた討論や地域活動への参加など、実践的な研修プログラムも取り入れてほしい。
- 研修生の活動事例や課題等を共有し、意見交換や専門家のアドバイス頂ける時間を設けてほしい。

受入先コメント

- 青梅に関わる色々な人々のお話を聞くことで、さまざまな角度から、青梅のまちづくりについて理解し、気づきを得られるような機会を提供した。
- 要望を受けてフォローアップを行いたい。

事務局コメント

- 限られた時間のなかで、國廣講師には様々なまちの人の声や現場でのまちづくりに関わる様々なプレイヤーの話が聞けるように調整いただいた。
- 様々なプレイヤーの話を聞くことで、青梅のまちづくりを多角的な視点で捉え、まちづくりのプロセスを追体験して学ぶような機会を提供することができた。
- ワークショップ方式による提案や意見交換の場を設けられなかった点で、研修生が主体的に取組む機会を提供できなかったことは課題だった。

インターンシップ型実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(東京都・青梅市)



インターンシップ型実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(山口県・周南市)

プログラム

日程	時間	内容
1日目	13:30-14:00	(株)まちあい徳山集合 イントロダクション 自己紹介
	14:00-16:00	中心市街地視察 ・周南市におけるこれまでの活性化に向けた取組 ・課題地区 ※商業関係者等へのヒアリング
	16:00-17:00	(株)まちあい徳山に期待されている役割
	18:00-	交流会①
2日目	9:30-11:30	まちづくりの課題と中心市街地活性化の取組 ・中心市街地活性化基本計画 ・テナントミックス事業（徹底的な出店サポート） ・Q&A
	11:30-13:30	昼食&視察
	13:30-15:30	まちづくりの推進体制 ・自立したまちづくり会社の運営 とくやまっぷ事業 旧和光ビルリノベーション事業 収益還元の考え方と仕組み 等 ・市役所、他機関との連携 等 ・Q&A
	15:30-17:30	活性化に向けた中核事業（事業概要、スキーム、効果） ・bloom & dream事業 ・徳山駅前市街地再開発事業 ・Q&A
	18:30-	交流会②
3日目	9:30-11:30	ワークショップ的取りまとめ ・周南市で学んだこと ・周南市への提言 ・自分達のまちでの応用 ・Q&A
	11:30-12:00	修了式
	12:00	解散

参加者コメント

- 数多いプレイヤーの連帯感の背景に毎月開催されるTM会議での協議が中核として機能している点が仕組みとして非常に優れていると感じた。
- 成功例だけでなく、失敗してしまった事例なども紹介いただいたのが、とても参考になった。
- 全国、まちづくり会社の成功例と言うと、行政から指定管理や事業を委託して行う事が一般的ですが、自力でまちづくり会社として事業を行っている会社を今回見せていただき、勇気づけられました。
- 他地域の方との懇親も深めることができ、研修地域以外のことも学べる場なのは、今後の自身の活動にとっても良い繋がりが持つことができました。
- 多くの事例に対し併せて数字も可能な限り示していただけると良い参考例になると思います。
- もう少し、訪問したまち会社の事について、詳しく説明を受ける時間をいただきたかった。

受入先コメント

- まちづくり事業に取り組んだ初めのころに街元気研修に参加し、いつか研修を行う立場に立ちたいと考えていたので感慨深い。これまでの経験を率直にお伝えして、考える場を提供した。
- 要望を受けてフォローアップを行いたい。

事務局コメント

- 多様な参加者がいるTM会議の運営主体としてのまちづくり会社の位置づけを示していただけだったので、事業の媒介役としてのまちづくり会社の役割を理解するうえでよい研修となった。行政、商工会議所からの講義があったことも有効だった。
- 現地視察とあわせて、巧みなファシリテーションによって、有効な学びと気づきの場が提供されていた。

インターンシップ型実地研修 実施結果(山口県・周南市)



事後集合研修

■ インターン型現地研修をより有効に行うため、現地研修の後には成果を共有する「事後研修」を実施した。

- 研修受講生の研修効果を確認するとともに、受講生同士や講師との人的ネットワークを強固にするために実施。
 - 受講生からの報告、これに対するコメントから研修、マッチングの場として有効に機能していることを示すことができた。
 - 研修の成果や今後の目標等についての報告の場を設けることで、講師や有識者等から適切な助言・指導等をもらい、今後の取組の方針を明確にすることができた。

■ 開催概要

- 日時：2020年2月3日（月）13:00-17:20
- 会場：TKP新橋カンファレンスセンター
カンファレンスルーム13B

時間	内容
13:00-13:05	イントロダクション(事務局)
13:05-13:10	ご挨拶(中心市街地活性化室長)
13:10-13:25	受講生報告、質疑1
13:25-13:40	受講生報告、質疑2
13:40-13:55	受講生報告、質疑3
13:55-14:10	休憩
14:10-14:25	受講生報告、質疑4
14:25-14:50	受講生報告、質疑5、6
14:50-15:05	休憩
15:05-15:20	受講生報告、質疑7
15:20-15:35	受講生報告、質疑8
15:35-15:50	受講生報告、質疑9
15:50-16:05	休憩
16:05-17:00	全体講評、意見交換 ・研修の受講、報告を踏まえた気づき ・受入側としての気づき、アドバイス ・今後のまちづくり、まちづくり人材育成の在り方
17:00-17:20	修了証授与 記念写真撮影
17:20	終了

インターンシップ型実地研修 事後集合研修



- 受講生の希望に応じて、下記フォローアップ研修を開催の予定だった。しかし、新型コロナウイルスの影響を鑑み、経済産業省と相談の上、開催を見送ることとした。

- 岐阜市 3/10,11日で開催を調整

- 宇部市 3/11-13日で開催を調整

課題解決型現地研修について

■ 目的

- 地域固有のまちづくり課題解決型研修は、まちづくりの課題を抱える地域を開催地として選定し、当該地域において生じている具体的な課題をケースとして取り上げ、課題解決につながる方策を検討する研修。
- 具体的には、開催地においてまちづくり活動を行う(または目指す)方々が、派遣されたまちづくりの専門家等と連携し、課題解決に必要なノウハウ等を学び、課題に対して継続的に取り組み、一定の成果に繋げることを目指す。

■ 対象者

- まちづくりを仕事にしており、特定のテーマの突破口を探している人(事業主体となり得る人)、地域課題の解決やまちづくりに興味のある会社員など。10名程度。
- 上記の事業を着地させるために、地域の支援機関(行政、金融機関等)の参加も促す

■ 所要時間・開催場所

- 2泊3日程度、5地域
- 新型コロナウイルスの影響を鑑み、経済産業省と相談の上、2地域(野田、府中)の開催を見送ることとした。

■ 内容

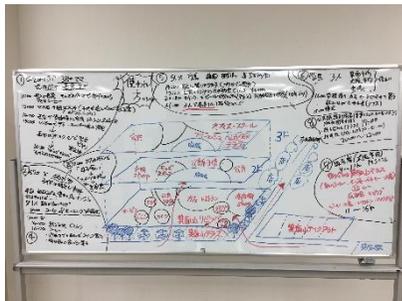
- 実際のまちづくり会社やまちの課題をテーマに、TM協会メンバーなどの有識者が複数で研修に参画。
- テーマに沿った分野の専門家からも講義も交えつつ、課題解決のための事業を企画、実行する。
- 研修地域の選定にあたっては、公募を行い、5地域を選定。

課題解決型現地研修について

地域	課題概要
<p>北海道 紋別市</p> <p>2020年2月21日(金) - 2月23日(日)</p>	<p>○ 空き物件の利活用のプラン作り</p> <p>市域全体の課題としては人口減少が顕著であり、産業の縮小、中心商店街の廃業や事業承継、空地や空き店舗が目立ってきている状況。特に、空き店舗の利活用が継続的に取り組むことのできる組織と仕組みづくりによって、今後の創業者や第2創業の呼び込みが可能と考えており、その第一歩として紋別市の所有する空き物件の利活用のプラン作り、実行計画を今回の研修で進め全体の事業の始動を早々に図りたい。</p>
<p>千葉県 野田市</p> <p>2020年2月29日(土) - 3月1日(月)</p> <p>※中止</p>	<p>○ 空き地、空き店舗において、出店者とオーナーのマッチングを可能とする具体的な事業策定</p> <p>産業雇用の縮小、大型店の進出、通信販売の台頭により中心市街地の賑いが薄れ、中心市街地の事業廃業が進む。課題としては中心市街地への創業や出店希望はあるものの物件の交渉が上手くいかず、空き店舗の放置、また出店者とオーナーのマッチングを継続的に円滑に進める組織や機能の不足が考えられる。また、自ら新たな事業を始動する組織の構築が必要と考え、その対応策を野田市商店街連合会、野田まちゼミの会、ギルドハウス、野田商工会議所といった実施可能な民間組織と、野田市にて協力して立ち上げていくことが必要。</p>
<p>大阪府 箕面市</p> <p>2020年2月14日(金) - 2月16日(日)</p>	<p>○ 阪急電鉄箕面駅前の再開発ビルのコンセプト策定</p> <p>阪急電鉄箕面駅前の再開発ビル周辺は、駐車場・駐輪場の建替えは完了し、一定の成果が見られているが、核施設であるビルについては、ビルの耐震化の方向性がようやく定まり、これから具体的に将来像を検討する必要がある。新たな商業施設の経営力、集客力だけでなく、地域の方々や観光客の回遊性を向上させる必要がある。特に建替え後の商業施設のあり方については、既存店舗の個別再配置という視点ではなく、駅前に相応しい魅力と集客力をもった商業施設として、一体感・統一感のある施設展開が求められている。</p>
<p>広島県 府中市</p> <p>2020年3月4日(水) - 3月6日(金)</p> <p>※中止</p>	<p>○ 空き家群の宿泊施設などへの活用事業</p> <p>地域の課題として、価値のある建築物や街並みがほとんど活用されていないことが挙げられる。このままでは、さらに、老朽化の進行や、相続など所有者の事情の変化によって価値の毀損が続いていくのは明白。空き家供給の見込みはたっており、事業者には投資意欲はある。しかし、事業を持続的に発展させていくための課題として、一般的な観光需要だけでなくビジネス需要など、ものづくり企業が多い府中市ならではの新たな需要の掘り起こしと、滞在者向けのホスピタリティ及び、近隣の観光都市には見られない独自性のある新たなサービスの開発が必要である。</p>
<p>長崎県 佐世保市</p> <p>2020年2月14日(金) - 2月16日(日)</p>	<p>○ 空き家群の宿泊施設などへの活用事業</p> <p>エリアマネジメントの展開を目指して設立し、事業展開を図ってきたところであるが、まち全体として共有するために、島地クルサ他市内で展開されている空家リノベーション、賑わい創出・回遊性向上のためのイベント、その他のまちづくり活動を振り返るとともに、将来のマチナカを展望し、街の課題と向き合った上、島地クルサを中心としたエリアの将来ビジョンと具体策の展開等についてまとめていきたい。また、もう一つの軸として空家リノベーションの展開を希望しているのが、街をつなぐ公共空間の民間利活用であり、その展開について検討したい。</p>

課題解決型現地研修について(大阪府 箕面市)

	時間	内容
初日	13:30 – 14:00	オリエンテーション(+自己紹介)、課題のご紹介
	14:00 – 15:20	レクチャー ・区分所有ビルでの持続的な商いについて ・先進事例紹介
	15:30 – 17:30	班分け、課題の理解、アイデア出し
	17:30 – 18:00	検討状況プレゼン
	18:10 – 20:00	懇親会
2日目	10:00 – 17:30	視察、班毎の事業検討
	17:30 – 18:00	検討状況プレゼン
3日目	10:00 – 11:30	班ごとの事業まとめ
	11:30 – 12:00	検討状況プレゼン
	12:00 – 12:15	クロージング



課題解決型現地研修について(長崎県 佐世保市)

	時間	内容
初日	13:00-14:00	ガイダンス、現状、課題の整理
	14:00-15:00	現地確認
	15:00-16:00	公共空間の利活用について<事例・レク>
	16:00-17:00	エリアコンセプトとターゲット<事例・レク>
	17:00-19:00	研修の今後の進め方とスケジュール <グループワーク>
2日目	19:00-	懇親会
	10:00-17:00	グループワーク/必要があればグループ内でレク
	17:00-19:00	検討結果のプレゼンテーション
3日目	19:00-	懇親会
	9:00-13:00	グループワーク/必要があればグループ内でレク
	13:00-14:00	プレゼンテーション
	14:00	解散



課題解決型現地研修について(北海道 紋別市)

	時間	内容-
初日	14:00-15:00	ガイダンス、現状、課題の整理
	15:00-15:30	現地組織、団体の現状確認
	15:30-16:30	まちづくりにおけるまちづくり会社の役割
	16:30-17:00	収益体制を構築する組織運営について
	17:00-19:00	課題抽出における具体的なグループワーク①
	19:00-	懇親会
2日目	9:00-10:00	空き店舗物件視察(3カ所)
	10:00-11:00	課題抽出における具体的なグループワーク②
	11:00-13:00	事業を加速させる人材育成、組織、体制づくり
	13:00-15:00	課題抽出における具体的なグループワーク③
	15:00-16:00	検討結果のプレゼンテーション①
	16:00-19:00	ブラッシュアップ討議
	19:00-	懇親会
3日目	9:00-10:00	ブラッシュアップ討議
	10:00-11:30	プレゼンテーション
	11:30-	解散



(1)まちづくり人材育成研修 ④まちづくりオープン会議

まちづくりオープン会議について

まちづくりオープン会議の位置付け

- まちづくりオープン会議は、まちづくりにかかわる特定の属性やテーマに沿って、関係者とのネットワーク形成や相互の学びの機会を提供するシンポジウム
 - まちづくり関係者の裾野の拡大をねらいとして、まちづくりの初心者(学生等の若手、主婦、シニア等)や実務経験者等広範囲を対象とする学びの機会とする
- 具体的には、地域のまちづくり関係者が、公開形式で取組を紹介しあい、一般参加者も交えて議論を行う中で、新たな人材の掘り起こしや人脈の構築、まちづくりにおける役割を見出せる機会の提供を目指す。

- 開催日時・場所
 - 2019年11月15日(金)13:00～16:00
 - NATULUCK銀座(roomA)

まちづくりオープン会議のテーマ設定（シェアによるまちづくりの可能性）

■ 趣旨

- 本年度は、資源をシェア（共有）することで、新たなまちづくりの課題を解決する、「シェアによるまちづくりの可能性」をテーマとして実施する。
- まちづくり会社の人材確保や投資コストの低減、社会関係資本（ソーシャルキャピタル）の醸成などの課題が存在するなか、近年シェアリングサービスが普及していることを踏まえ、公共や民間がまちの資源をシェア（共有）することで、まちづくりの課題を解決する手段の模索をテーマとしたものである。
- 全国各地の先行的な取組を報告していただくとともに、どのような資源をシェアをすることで、新たなまちづくりの可能性を生み出せるのか、そのインパクトなど、各視点からまちづくり関係者に解説する。

■ プログラム

- 企業講話（取組内容の説明）
 - シェア×スキル
 - ・ 株式会社クラウドワークス（クラウドソーシングを活用したまちづくり）
 - シェア×空間（外）
 - ・ 軒先株式会社（シェア型パーキングサービス）
 - シェア×空間（内）
 - ・ 株式会社スペースマーケット（スペースを有効活用するプラットフォーム）
 - シェア×カネ
 - ・ Faavo by Camp fire（クラウドファンディング×地域活性化）
- 全体統括、閉会

『スキル』
視点

『空間』
視点

『カネ』
視点

まちづくりオープン会議の実施

【成果・課題】

- まちづくりにおけるシェアリングの可能性について新しい見方を紹介できた。参加者の満足度は高かった。
- 企業関係者に多数参加していただいたが、まちづくり会社職員等の参加はやや少なかった。まちづくりにおける企業との連携の意義、可能性等についての情報提供、打ち出しの強化が必要である。

時間	内容
12:30~13:00	開場・受付開始
13:00~13:05 (10分)	■開会挨拶 経済産業省 地域経済産業グループ 中心市街地活性化室 室長補佐 鈴木貴詞 氏
13:05-13:45 (40分)	■報告（1）シェア×空間① 重松 大輔 氏 スペースマーケット 代表取締役 一般社団法人シェアリングエコノミー協会 代表理事
13:45-14:25 (40分)	■報告（2）シェア×お金 齋藤 隆太 氏 CAMPFIRE 執行役員 / FAAVO ファウンダー
14:25-14:35	休憩
14:35-15:15 (40分)	■報告（3）シェア×空間② 西浦 明子 氏 軒先株式会社 代表取締役 スキマハンター
15:15-15:55 (40分)	■報告（4）シェア×人材 田中 健士郎 氏 株式会社クラウドワークス 経営企画/地方創生マネージャー
15:55-16:00	■閉会

開催レポート

- 共有(シェア)することによって「資産」から新たな価値を生み出す「シェアリングエコノミー」が日本でも広がってきました。宿泊サービスのAirbnbや、配車サービスのUberなどが有名ですが、オフィスなどの空間、自転車等のモノ、資格等のスキル、資金など、様々な分野で新たなサービスが生まれています。
- 一方、シェアリングは、新しい暮らし方や働き方をもち、公共空間、公共サービスを含めて、活動の場としてのまちの在り方へも大きな影響をもたらすと考えられます。こうした状況を鑑み、今年度の街元気まちづくりオープン会議では、「シェアによるまちづくりの可能性」をテーマとして、11月15日(金)に開催しました。
- 当日のプログラムの概要は、下記の通りです。

●講演：「シェア×空間①」

スペースマーケット 代表取締役

一般社団法人シェアリングエコノミー協会 代表理事

重松 大輔 氏



- 2014年1月に株式会社スペースマーケットを創業後、2016年1月に一般社団法人シェアリングエコノミー協会を設立し、シェアリングエコノミーの普及と業界の健全な発展を目指して活動している重松大輔氏に、「シェア×空間」をテーマにご講演いただきました。
- **「所有から共有へ」というシェアリングエコノミーの基本的な考え方**や、空間、スキル、モノ、移動、お金といったシェアリングの対象分野、10兆円台に達する経済効果等をご説明いただくとともに、**Airbnb、Uber、Mobike、Go-jek等の世界各地の事例紹介**や、**会議室・オフィス、住宅、レストランに留まらないスペースマーケットの最近の取組**についてご紹介いただきました。

●講演：「シェア×お金」

CAMPFIRE 執行役員 / FAAVO ファウンダー

齋藤 隆太 氏



- 「地域×クラウドファンディング FAAVO」を企画、立ち上げ、現在は(株)CAMPFIRE執行役員として、全国各地の地方公共団体、金融機関、地方事業者、NPOなど様々な団体と協業しながら、地域にクラウドファンディングを根付かせる仕組みを構築している齋藤隆太氏に、「シェア×お金」をテーマにご講演いただきました。
- **地域を盛り上げるに特化したクラウドファンディング“FAAVO”**を中心に、融資型クラウドファンディング“Campfire Owners”、NPOを対象とする“Polca”等、(株)CAMPFIREの最近の取組の広がりとあわせて、女子高校生によるアートプロジェクト等、**まちづくりの小さいプロジェクトにも向いているクラウドファンディングの特性と可能性**についてご紹介いただきました。

開催レポート(つづき)

●講演：「シェア×空間②」

軒先株式会社 代表取締役 スキマハンター
西浦 明子 氏



- 大手企業での勤務経験を経て、2008年に日本初のスペースシェアリングサービス「軒先」を起業し、全国の遊休スペースの活用提案に奔走している軒先株式会社代表取締役、自称「スキマハンター」の西浦明子氏に、「シェア×空間」をテーマにご講演いただきました。
- 軒先ビジネスを起業したきっかけや、ポップアップ向けスペースシェアの“軒先ビジネス”、駐車場シェアの“軒先パーキング”、飲食店シェアの“軒先レストラン”等、最近の取組の紹介とあわせて、「脱容積率志向」という、これからのまちづくりに向けたメッセージを提起していただきました。

●講演：「シェア×人材」

株式会社クラウドワークス 経営企画/地方創生マネージャー
田中 健士郎 氏



- 日本最大級のクラウド・ソーシングサービス「クラウドワークス」の経営企画/地方創生マネージャーとして、地域パートナーや自治体と連携してクラウドソーシングの普及促進・ワーカー育成に携わっている田中 健士郎氏に「シェア×人材」をテーマにご講演いただきました。

《参考》 シェアリングエコノミー

- 「シェアリングエコノミー(共有経済)」は、場所・乗り物・モノ・人・お金などの遊休資産をインターネット上のプラットフォームを介して、個人間で賃借や売買、交換することで、シェアしていく新たな経済の動き。

シェアリングエコノミーの領域

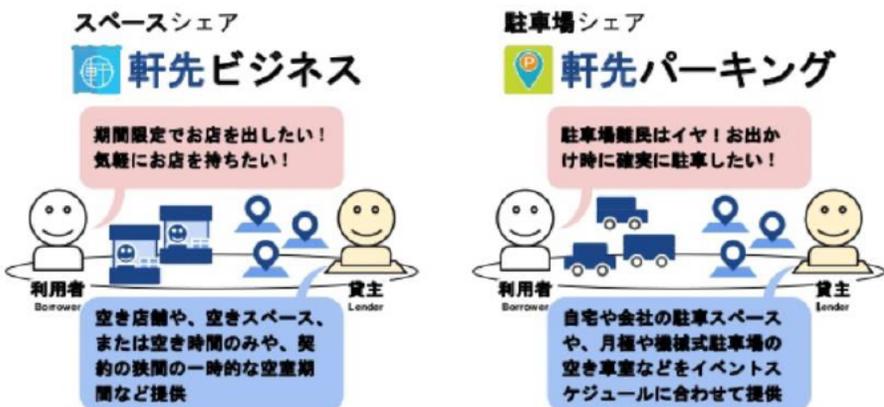


《参考》シェアリングサービスの事例

- まちづくり会社の新しい事業の「種」、或いはまちづくり会社との連携のなかで、中心市街地の地域資源の活用による活性化を図ることが想定される。

軒先株式会社

軒先のシェアリングサービス



取組課題と解決策



圧倒的な掲載数と多様な種類でさまざまな利用に対応



《参考》 シェアリングサービスの事例

FAAVO by Campfire

地域特化型クラウドファンディング

FAAVO by Campfire website interface. The main campaign is titled "浅野いばり" (Asano Ibari) and aims to restore a train car. It shows a current amount of 1,451,500 yen, 84 supporters, and 42 days remaining. The site also displays statistics: 2024 projects, 98 regions, and a total of 1,105,214,969 yen raised.

ふるさとクラウドファンディング

北海道・東北 関東 北陸・甲信越 東海
関西 中国・四国 九州・沖縄

FAAVO by Campfire website interface. The main campaign is titled "美術部 + カフェ" (Art Club + Cafe) and aims to open a cafe. It shows a current amount of 227,000 yen, 17 supporters, and 51 days remaining. The site also displays statistics: 2080 projects, 99 regions, and a total of 1,140,249,493 yen raised.

ふるさとクラウドファンディング

北海道・東北 関東 北陸・甲信越 東海
関西 中国・四国 九州・沖縄

株式会社クラウドワークス

日南市における活動事例

Crowd Works 株式会社クラウドワークス
日南市 月収20万円ワーカー育成プロジェクト

取り組み内容

- 全国初の公設コワーキングスペースに「クラウドワーカーズ・シート」設置 (クラウドワーカーは月3回まで無料で利用可)
- 市民向けにクラウドソーシングを活用した新しい働き方セミナー開催
- 市が選抜したワーカー3人にクラウドワークスが仕事を紹介

結果

- Web関連業務のワーカー育成に取り組む日南市の姿勢が評価されたことで、東京のWeb関連企業3社が同市へのサテライトオフィス進出を決定



- プロジェクトに参加するワーカーがクラウドワーキングの実績を評価され、日南市進出企業による雇用決定 (クラウドワーキングは副業として継続)

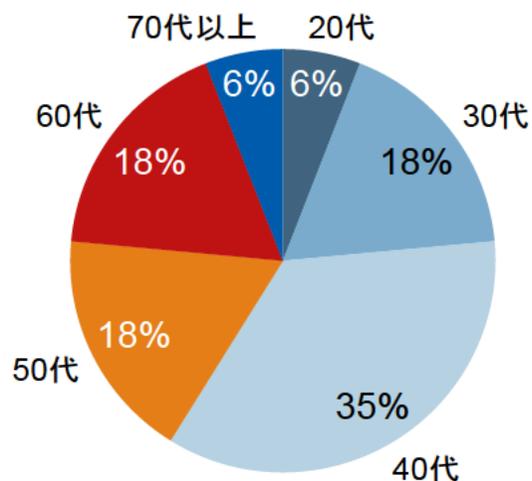


井戸川 理咲さん
(日南市在住・40代・シングルマザー)
未経験からクラウドワークスでライティングを開始し、約半年で月数万円の収入を得る。クラウドワーキングの実績を評価され、ポート株式会社 に就職決定

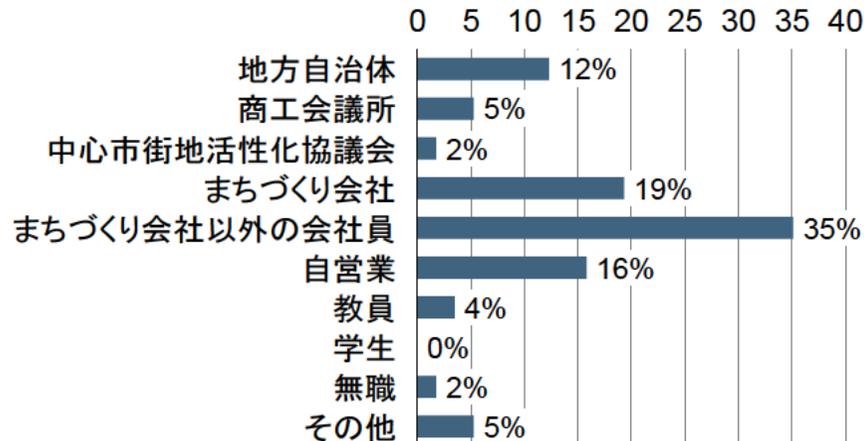
まちづくりオープン会議

30～40代を中心に民間企業が多く、まちづくり会社、自治体関係者などはその次の多さになった。街元気サイトからが46%、その他事参加者からの紹介やプレスリリースからの参加者が多い。

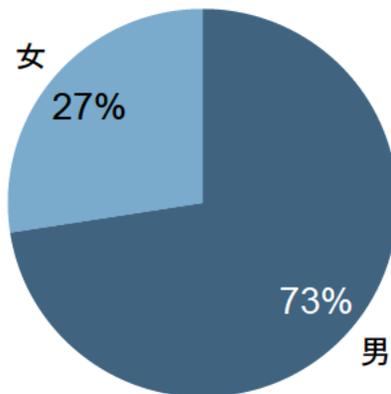
回答者の年齢(N=78)



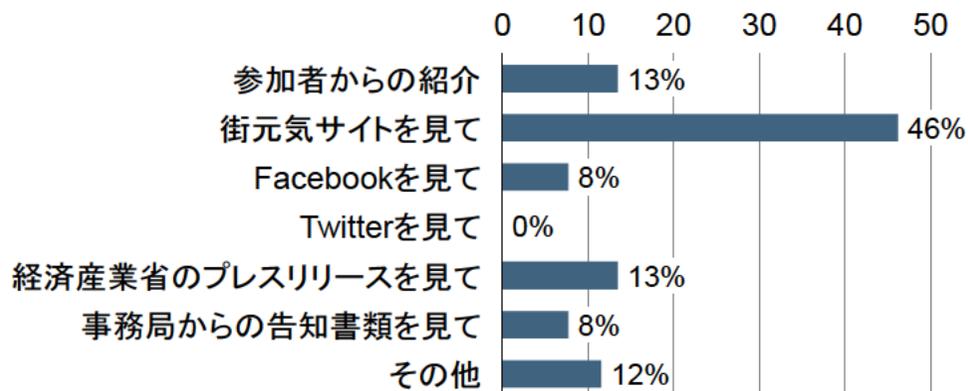
回答者の職業(N=78)



回答者の性別(N=78)



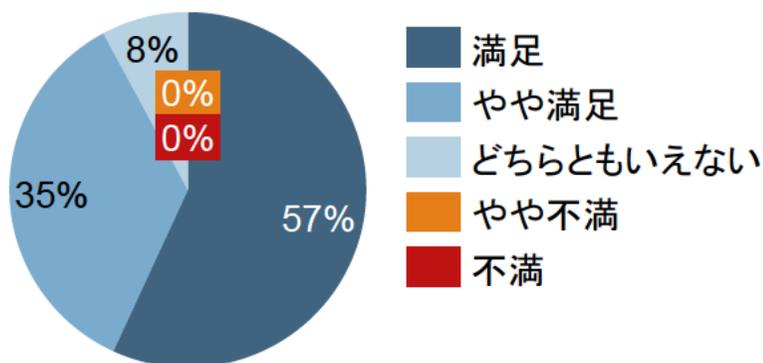
イベントに参加したきっかけ(N=78)



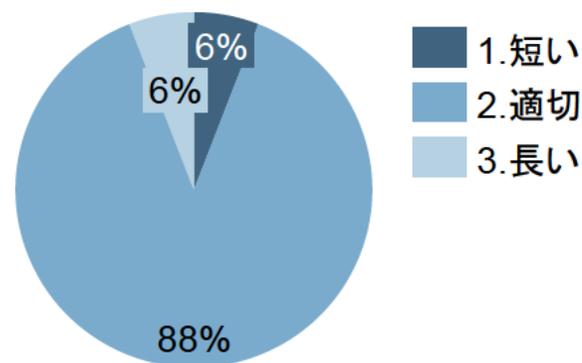
まちづくりオープン会議

参加者の満足度は高く、次回への参加意向も75%となっている。
今回は、会議時間の長さが適切にアレンジできた。

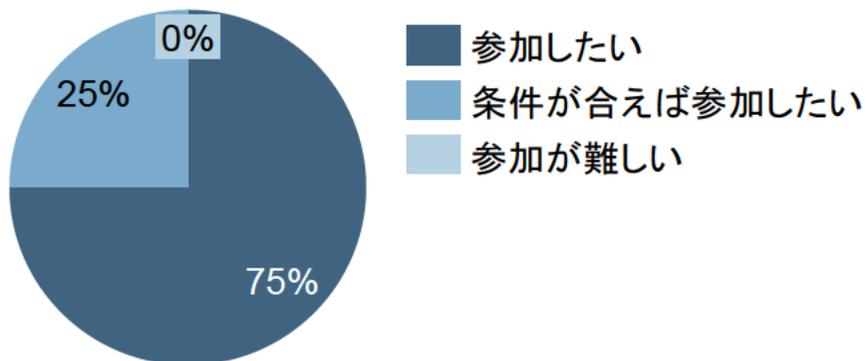
オープン会議に対する満足度 (N=78)



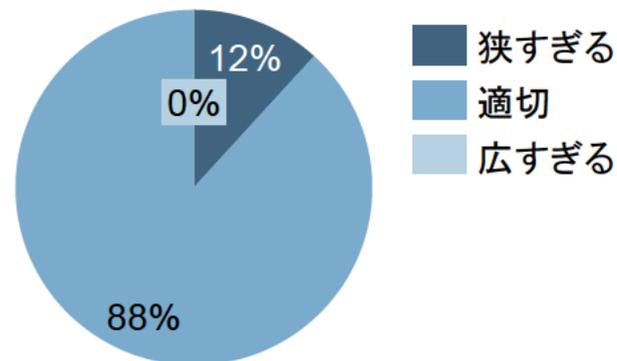
会議全体の時間 (N=78)



来年度以降のオープン会議への参加意向 (N=78)



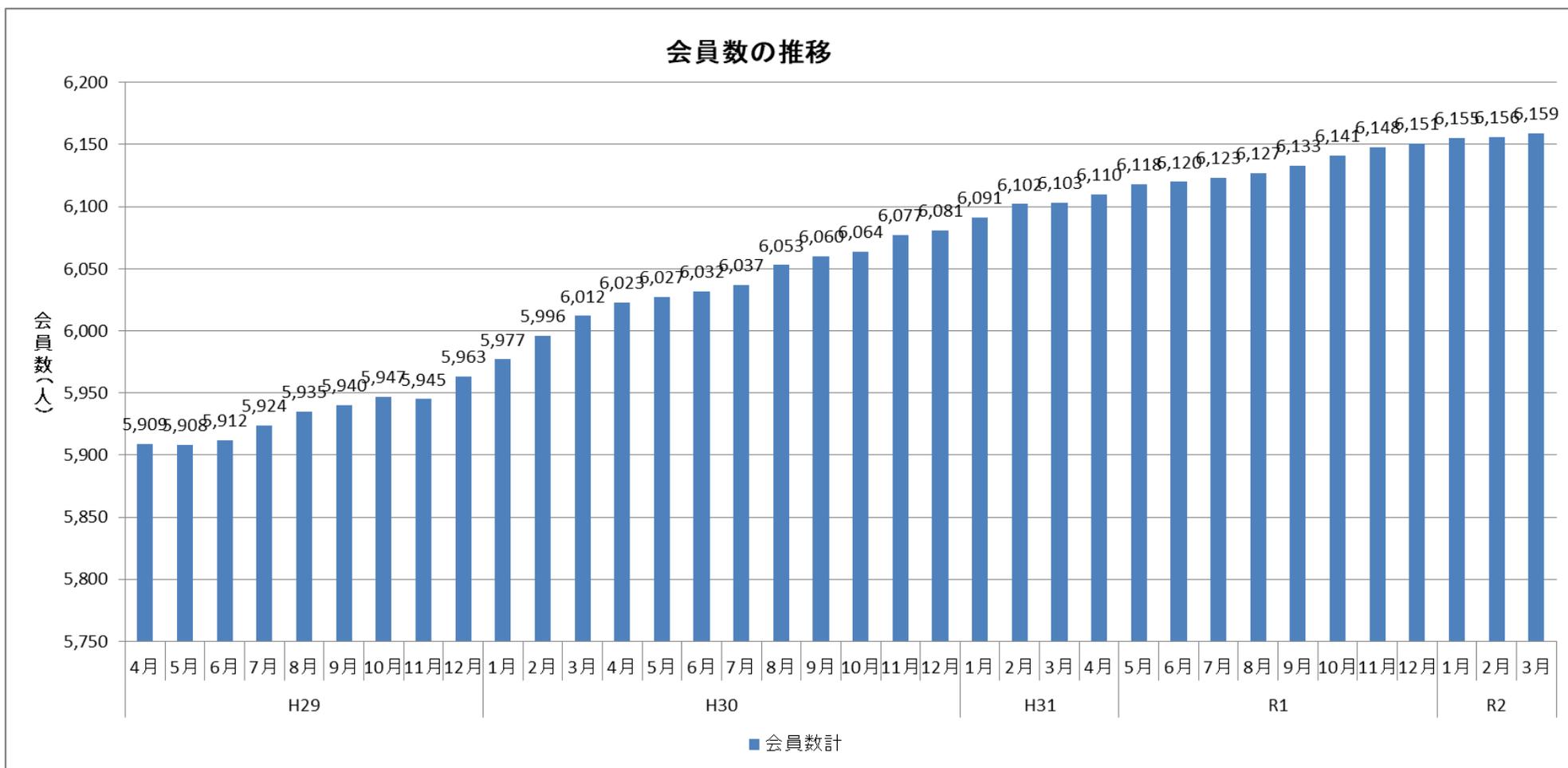
会場の大きさ (N=78)



(2)ポータルサイトの運営／維持・管理

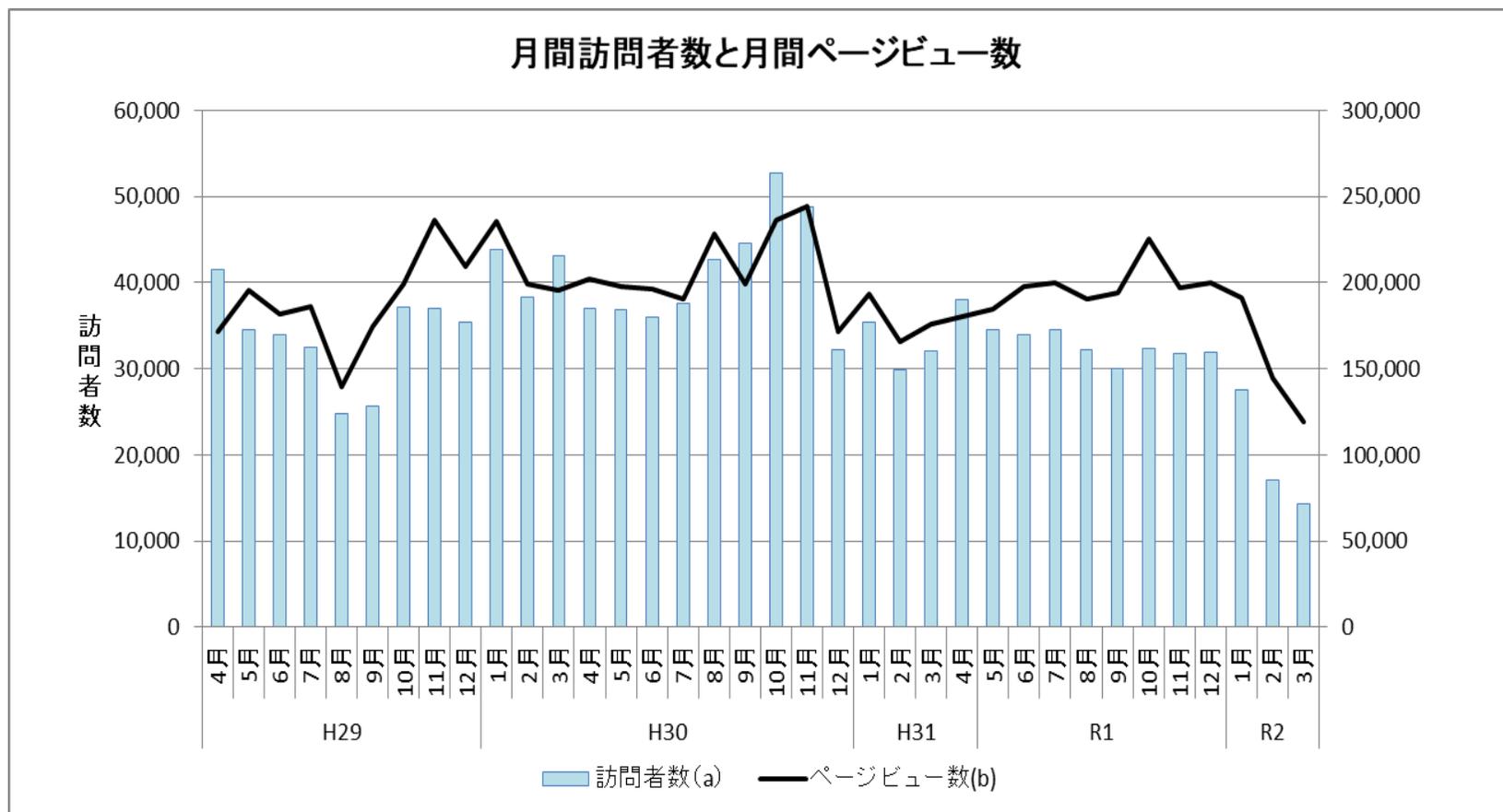
平成31年(令和元年)度の運営状況(会員登録状況)

- 2020年3月20時点の登録会員数は6,159名で、この一年間に58名の会員が増加した。
- 同期間にTwitterのフォロワーは28名が増加し、1,445フォロワーとなった。



今年度の運営状況(訪問者数・ページビュー数)

- 今年度の訪問者数は、毎月3万人前後で推移したが、2月以降は減少し、新型コロナウイルスの影響による社会活動の低下の影響と考えられる。
- 研修の募集が多かった10月は、訪問者数はあまり変わりなかったが、ページビュー数が22万ページビューに増加した。定期的にサイトに訪問しているユーザの滞在時間が増えたと考えられる。



■ 研修・セミナーの募集掲載

- 座学研修、地域固有のまちづくり課題解決型研修、インターンシップ型現地研修、まちづくりオープン会議、次世代会議の参加者募集を掲載

研修・応募

「地域固有のまちづくり課題解決型研修」 - 開催地域 募集のお知らせ -

「地域固有のまちづくり課題解決型研修」は、まちづくりの課題を抱える地域を開催地として選定し、当該地域において生じている具体的な課題をケースとして取り上げ、課題解決につながる方策を検討する研修（アクション・ラーニング）です。

具体的には、開催地においてまちづくり活動を行う（または目指す）方々が、派遣されたまちづくりの専門家等と連携し、課題解決に必要なノウハウ等を学び、課題に対して継続的に取り組み、一定の成果に繋げることを目指すものです。

[詳細はこちら](#)

令和元年度 座学研修

「まちづくりに必要な知識を学べる機会を充実して欲しい」、「まちづくり関係者とのネットワークを広げたい」という全国からのご要望にお応えすべく、本年度も座学研修を実施いたします。

本研修は、まちづくりの第一線で活躍する講師から、まちの現状分析・課題の発見、事業戦略・事業計画の立案、ハード・ソフト事業の実行支援、まちづくり会社の財務会計等、まちづくりに関する様々なノウハウを広く体系的に学ぶことができる内容となっております。

まちづくりに関する学習の機会、講師を含む全国のまちづくり関係者との交流の機会として、ご活用ください。

下記内容をご確認の上、お申し込みください。

日程	場所	テーマ/講師	募集人数	詳細申し込み
		「まちなかにおける新しい事業のつくり方」 株式会社街制作室 プロデューサー 渋谷 正明 氏		
		「公共空間における低未利用地の活用」 草津まちづくり株式会社 マネージャー 辻 信一 氏		
		<掛け算トーク：キャッシュレス × まちづくり> 「キャッシュレスと地域活性化」 一般社団法人キャッシュレス推進協議会 事務局長 柳田 好郎 氏		
		株式会社金沢商業活性化センター 常務執行役員 高木 泰輔 氏		

[CIVI研修セン](#)

令和元年
「中小企業等支援人材育成事業（中心市街地活性化普及促進事業）」
第1回座学研修募集要項

1. はじめに

座学研修は、まちづくりと地域の活性化に繋がる手法を学べる研修です。

今年度の研修では、「まちづくりの今日的課題への処方箋」として、地域活性化のための先進的な仕掛けを幅広く学び、地域のまちづくりに携わるプレイヤーや支援機関、企業、まちづくり関係者の出来ることについて、考えることをテーマとしています。

研修では、まちづくりの実務に携わっている講師陣による講義やパネルディスカッションから、まちづくり特有の知識・スキルの習得を図るとともに、地域における合意形成の手法や先進事例を学べるようになっております。

これまで、まちづくり会社、自治体、商工会・商工会議所、商店街の関係者など、まちづくりの中心を担う組織のご担当者のみならず、これからまちづくりに関わる意向を持つ金融機関や鉄道事業者、電力事業者の方々にも多数ご参加いただいておりますので、ぜひこの機会をご活用ください。

2. 研修概要

- 1 研修の対象者と募集者数
 - まちづくり業務に関わられている方、これからまちづくり業務を行ってみたい方
 - 募集者数：200名（先着順）
- 2 研修時期
 - 令和元年10月16日（水）13時～17日（木）15時まで
（1日目：13時～17時30分 2日目：9時～15時）
- 3 受講料等
 - 無料
 - ただし、旅費は、各自でご負担ください。
- 4 研修開催場所

（会場）CIVI研修センター日本橋

（住所）〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-1-6

研修・シンポジウム等の実施概要の掲載

■ 下記の座学研修等について、実施概要を作成して掲載した。

● 令和元年度 座学研修

令和元年度 座学研修「まちづくりの今日的課題への処方箋」について

座学研修は、まちづくりの専門家を講師として、まちの現状分析から課題の発見、ハード・ソフト事業の進め方等、まちづくりに関する様々なノウハウを広く体系的に学ぶ機会です。今年度は10月16日(水)～17日(木)の2日間、東京で開催しました。
今回の座学研修のテーマは、「まちづくりの今日的課題への処方箋」。地域活性化のための先進的な仕掛けを幅広く学び、地域のまちづくりに携わるプレイヤーや支援機関、企業、まちづくり関係者の出来ることについて、考えることをテーマとして開催しました。
当日のプログラムと概要は、下記の通りです。

【10月16日(水)】

「まちなかにおける新しい事業のつくり方」

株式会社街制作室 プロデューサー 渋谷 正明 氏



全国各地で、商業施設を中心に多くの人を惹きつける魅力的な集客交流空間のプロデューサーに取組んできた、株式会社街制作室の渋谷正明プロデューサーに、「まちなかにおける新しい事業のつくり方」と題して講義して頂きました。

沖縄における「国際通り屋台村」「ウミカジテラス」を始めとして、全国各地における具体的な事例紹介を通して、「明快で誰にでも伝わってぶれないコンセプトを作ること」の大切さや、それを踏まえた具体的な空間づくり、店舗構成、運営のノウハウ等について紹介して頂きました。

「公共空間における低未利用地の活用」

葦津まちづくり株式会社 マネージャー 辻 信一 氏



百貨店退職後に葦津まちづくり株式会社で、葦津川跡地公園内の店舗立上げや、葦津市中心市街地公共空間賑わい創出事業を立ち上げ、まちなかの公園や広場など(ブリックスペース)を活用したイベントを多数仕掛けてきた葦津まちづくり株式会社の辻信一マネージャーより、「公共空間における低未利用地の活用」と題して講義して頂きました。
中心市街地活性化基本計画を踏まえた葦津まちづくり株式会社の役割、体制を踏まえて、まちづくり会社が具体的に展開している事業として、niwa+ (ニワタス)の運営、東海道・葦津宿テナントミックス事業、KUSATSU COCORIVAの運営等について説明して頂きました。

<掛け算トーク: キャッシュレス × まちづくり>

【基調講話】

「地域活性化に向けたキャッシュレスの活用」

一般社団法人キャッシュレス推進協議会 事務局長 常務理事 福田 好郎 氏



経済産業省を始めとする関係各省庁の合意・理解の下、日本におけるキャッシュレス(支払い方改革)の普及に向けて、産官学が連携するための中立的な推進役を担っている一般社団法人キャッシュレス推進協議会の福田好郎事務局長 常務理事に「地域活性化に向けたキャッシュレスの活用」と題して講義して頂きました。

我が国におけるキャッシュレスの状況、なぜキャッシュレスが必要なのかを分かりやすく説明して頂くとともに、まちづくりにおける活用のあり方(店舗側・消費者側)について、実践的なアドバイスを頂きました。

【パネルディスカッション】

○パネリスト:

一般社団法人キャッシュレス推進協議会 事務局長 福田 好郎 氏
株式会社金沢民間活性化センター 常務執行役員 高本 泰晴 氏
株式会社まちづくり松山 代表取締役社長 加戸 慎太郎 氏

○モデレータ:

街元氣事務局



まちづくりという観点から、キャッシュレスの取組を深めるため、基調講義して頂いた福田氏に加え、地域においてキャッシュレスに取組んでいる株式会社金沢民間活性化センターの高本泰晴常務執行役員、株式会社まちづくり松山の加戸慎太郎代表取締役社長をパネリストに迎え、街元氣事務局の進行のもとパネルディスカッションを行いました。
始め高本氏から金沢市の共通端末を利用した取組、加戸氏から松山市における電子マネー「マチカ(machica)」の取組を紹介して頂きました。様々な決済手段が存在する中で、どのような手段を選択すべきか等、キャッシュレスの浸透に向けたまちづくりの現場における課題と今後の展望について、会場からの質問も踏まえて、様々な観点から語って頂きました。

【10月17日(木)】

<掛け算トーク: 企業 × まちづくり>

【基調講話】

「IT企業の地方移転～日南に立地した企業の視点～」

株式会社油津の垣田 取締役 木藤 亮太 氏



富崎県日南市において2019年7月からテナントミックスサポートマネージャーとして、油津商店街の再生事業に取組み、約4年で25を超える新規出店、IT企業誘致等を実現してきた株式会社油津の垣田木藤亮太取締役は、「IT企業の地方移転～日南に立地した企業の視点～」と題して講義して頂きました。
小売業が停滞する中、「ずっと人がいる街」の実現に向けて、起業や企業誘致に取り組み、十数社のIT企業の立地に成功したこと、これに伴い、保育園、ゲストハウスなど、小売業とは異なる業種を含めた、街の「リ・デザイン」につながったことについて、説明して頂きました。

【パネルディスカッション】

○パネリスト:

株式会社油津の垣田 取締役 木藤 亮太 氏
ポート株式会社日南オフィス 拠点長 東 瑠子 氏
○モデレータ:
街元氣事務局



基調講義して頂いた木藤氏に加えて、ポート株式会社日南オフィスで拠点長を務める東瑠子氏を迎えて、街元氣事務局の進行のもとパネルディスカッションを行いました。
始めに東氏から、ポートが日南にサテライトオフィスを移すことになった経緯や、日南における業務の状況、商店街における地域との関わり等についてご紹介頂きました。
そのうえで、当初の人材確保の取組や、ポートに立地したことのスリット・デメリット、今後の中心市街地に立地が望まれる備前、現在の課題と今後の展望などについて、会場からの質問も踏まえて語

「まちの変革手段としてのマーケット」

O+Architecture 代表 鈴木 真央 氏



英国でマーケット研究に取り組み、「マーケットでまちを変える～人が集まる公共空間のつくり方～」(学芸出版社、第九回不動産協会賞受賞)を出版するとともに、自らの地元でYanasegawa Marketも主催するO+Architectureの鈴木真央代表に、「まちの変革手段としてのマーケット」と題して講義して頂きました。
建築設計からマーケット研究に飛び込んだきっかけや、自らYanasegawa Marketを開催した経験も踏まえて、マーケットから学べる5つのヒントとして、①余白を設計して能動的な活動を引き出す、②コミュニティをケアする、③個の集合体を活かす仕組みの設計、④間合いの選択で関係性のあるまちを作る、⑤公共空間が個とまちをつなぐ、という5つのポイントを説明して頂きました。

「県庁移転危機からのまちの強み・特徴を活かしたまちづくり」

長崎つきまち株式会社 タウンマネージャー 高木 弘義 氏



企業における10年補正社員勤務、行政・外郭団体等における観光、雇用、創業支援、NPO支援、まちづくり活動や、FM KITAQ(パーソナリティ等)、多様な経験を経て、現在は長崎つきまち株式会社所属する高木弘義タウンマネージャーから、「県庁移転危機からのまちの強み・特徴を活かしたまちづくり」と題して講義して頂きました。
長崎県庁における具体的な取組として、築町まち歩き、築町市場土産市場、築町プレミアム商品券、築町へっぴん会、長崎市商店街持続化推進事業について、それぞれの考え方や、実施に当たっての創意工夫と成果等について説明して頂きました。

「長野駅周辺のまちづくりについて」

～「まちげんき、研修を活かすアウトカムへの取り組み～」

長野市南石堂町商店街振興組合事務局 兼 シナノ未来プロジェクト 事務局長 宮下 佳隆 氏



大手企業就職後、2018年に地元へUターンし、まちづくりに積極的に関わっている宮下佳隆 長野市南石堂町商店街振興組合事務局 兼シナノ未来プロジェクト事務局長に、「長野駅周辺のまちづくりについて～「まちげんき、研修を活かすアウトカムへの取り組み～」と題して講義して頂きました。
まちづくりに関することになった経緯について、熱心を持ったきっかけ、シナノ未来プロジェクトへの参加、南石堂町商店街振興組合における取組、長野駅前における「eスポーツ」の普及に向けた企画等について説明して頂きました。街元氣研修に参加した際の経験と気づきについても話して頂きました。

【パネルディスカッション】

○パネリスト:

長崎つきまち株式会社 タウンマネージャー 高木 弘義 氏
長野市南石堂町商店街振興組合事務局 兼 シナノ未来プロジェクト 事務局長 宮下 佳隆 氏

○モデレータ:

街元氣事務局



街元氣研修の受講生でもあり、まちづくりに取り組み始めてからまだ間もない高木氏と宮下氏に参加して頂き、街元氣事務局の進行のもと、パネルディスカッションを行いました。
前職の経歴をいかしてまちづくりにどのように取り組まれているのか、やりがいや手ごたえを感じた時や壁にぶつかった時、地元との関係づくり、まちづくりスキルの磨き方、これからやってみたいこと等について、これまでの経験を踏まえて語っていただきました。
築町プレミアム商品券やeスポーツ等の取組に関する会場から丁寧な質問にも丁寧に答えて頂きました。

まちづくりに関する各種政策等の情報提供

■ 経産省等からのお知らせの継続的掲載とメルマガ配信

- 経済産業省関連の補助金、低利融資等の公募情報を継続して掲載し、メルマガで配信した。
- 経済産業省以外のまちづくり関連の情報についても、必要と考えられる情報を掲載し、メルマガで配信した。

■ また、「政策関連情報」関連のサイトメニューの改修にあわせて、経済産業省及び他省庁によるまちづくり関連の補助金等の情報について、一元的に提供し蓄積できるようにした。

中心市街地で活用できる低利融資制度のご案内

中心市街地で商業・サービスを営む方がご利用いただける低利融資制度をご紹介します。

内容

■ 貸付機関

株式会社日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫

■ 貸付限度額

【中小企業事業】（中小企業向け長期事業資金）

設備資金：7億2,000万円 運転資金：2億5,000万円

【国民生活事業】（個人企業・小規模企業向け事業資金）

設備資金 7,200万円 運転資金 4,800万円

■ 資金使途

- ① 合理化、共同化等を図るための設備の取得
- ② セルフサービス店の取得
- ③ 集配センターの取得（中小企業事業のみ）
- ④ ショッピングセンターへの入居
- ⑤ 販売促進、人材確保（運転資金のみ）
- ⑥ 新分野への進出

対象者

【中小企業事業】

- ① 中小企業者であり、中心市街地関連地域（※1）において卸売業、小売業、飲食サービス業及びサービス業のいずれかの事業を営む方
- ② 中小企業者であり、中心市街地関連地域において不動産賃貸業を営む「まちづくり会社」等（※2）
- ③ 中心市街地活性化法第50条第4項に規定する特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の認定に基づき事業を実施する方
- ④ 中心市街地活性化法第50条第4項に規定する特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の認定に基づき整備された施設において卸売業、小売業、飲食サービス業及びサービス業のいずれかの事業を営む方又はこれらの方を構成員とする事業協同組合等

【国民生活事業】

- ① 中心市街地関連地域において卸売業、小売業、飲食サービス業及びサービス業のいずれかの事業を営む方

SNSを活用した情報提供

- 新着情報を発信する際、街元気サイトのTOPへの新着情報掲載に併せて、TwitterとFacebookページにもトピックとして掲載するようにし、FacebookやTwitterのフォロワーに対して、情報が到達する運用を行った。

Twitterでの情報発信

- 街元気サイトの更新内容についてTwitterで情報発信を行っており、その画面例を次に示す。
- Twitterでの情報発信に関する2020年3月24日時点での累積ツイート1,975、フォロワー1,445で、フォロワーは昨年3月6日時点の1,417から28名増加した。
- 3月24日時点の直近28日間の5ツイートに対して、表示件数6,742件であった。



平成31年度の運営状況(SNSの状況)

- 2020年3月24日時点の街元気Facebookページでの「いいね！」数は2,740名で、2019年3月1日より57名増加、フォロワー数は2,830名で2019年3月1日より106名増加した。

今日までの合計いいね！数: 2,740



ページの今日の合計フォロワー数: 2,830人



マチイベ(街のイベント情報)の登録・公開

- マチイベに掲載するイベントについては、恒常的にサイトでの受付を行っている。
 - マチイベとは、全国各地のまちづくりに関するイベントを一元的に登録・集約し、WEBを通じて、当該イベントに関する情報を検索することができる機能である。
 - また、昨年掲載情報の更新を確認し、継続的にイベントの更新登録を行っている。
 - 2019年度の掲載件数は262件

- 掲載したイベントについては、メルマガ、Twitter、Facebookに掲載してお知らせしている。

- さらに、開催機関の指定による検索、イベント名による検索、都道府県を指定しての検索など検索性を向上させるための工夫を行なっている。

- 過去分については、イベントの主催者側で、事後に情報が削除・変更されることもあることから、毎年度末に前年度分を削除する運用としている。

マチイベ! (街のイベント)

開催期間を指定して検索 開催期間 2020/02/13 ~

カレンダーを表示する

イベント名を指定して検索

都道府県を指定して検索 開催期間 2020/02/13 ~

都道府県を表示する

開催期間	イベント名	場所	概要
2020年2月6日(木)~2月24日(月・祝)	ばるばる下北沢 Tokyo Bar Hooping Shimokitazawa ほしご酒でみんな呑み友(2月6日(木)~2月24日(月・祝))	東京都 世田谷区 下北沢駅周辺	***** ばるばる下北沢 To...
2019/11/23~2020/02/15	ひらかわイルミネーションプロムナード 2019(令和元年11月23日~令和2年2月15日)	青森県 平川市柏木町 弘南鉄道平賀駅前広場 ホケッパーク	今年も幻想的な光のアートが平賀駅前通りを彩ります...
2019年10月~2020年3月	阪神まち大学 実践講座(10月~3月...月2回程度(受講生が決まり次第全員で日程調整してミーティングスケジュールを組む))	兵庫県 西宮市穂塚町2-20 西宮商工会館本部3階(コミュニティ事業支援ネット)	大学では学ばない、社会で必要なチカラを"ま"に...
2020年2月15日(土)	山中湖アイスキャンデルフェスティバル(2月15日(土))	山梨県 南都留郡山中湖村 平野 山中湖交流プラザ「きらら」	山中湖アイスキャンデルフェスティバルでは、氷で作...
毎月第3土曜日	三木浦こいやあ(2月15日(土)、3月21日(土))	三重県 尾鷲市三木浦町 273-7 三木浦魚市場	毎月、第三十曜日は「三木浦こいやあ」の日です!...
2020年2月16日(日) 8:00~11:00	第87回イタミ朝マルシェ(2月16日(日))	兵庫県 伊丹市中央3-2-4 三軒寺前広場	~「おはよう」からはじまる朝マルシェ~ 月に一...
2020年2月16日(日)~3月1日(日)	第7回 川西まちなか美術館『まちとひとを彩るアート』(2月16日(日)~3月1日(日))	兵庫県 川西市 川西能勢口駅周辺各所	川西市の中心市街地活性化事業の一つとして、川西...
2020年2月16日(日) 10:00~16:00	2020『大人の学園祭』(2月16日(日))	東京都 世田谷区成城6-2-1 成城ホール	2020『大人の学園祭』 主催 せたがや生涯現役...
毎月第3日曜日	高梁川流域「食数三喜市」(2月16日(日)、3月15日(日))	岡山県 倉敷市 倉敷駅前商店街及びその周辺	この朝市は倉敷の中心市街地に賑わいを創るため、2...
毎月第3日曜日	曙明の朝市(2月16日(日)、3月15日(日))	福井県 敦賀市相生町7-8 敦賀博物館通り	第3日曜日は「曙明の朝市」 博物館通りで毎月第...

統計情報の拡充

■ 経済センサス(H28)の拡充

- 2018年3月31日時点の中心市街地活性化基本計画 認定 142市2町
- 経済センサス H21, H24, H26に、H28を追加
- 各市町の中心市街地エリア内についての統計値を集計(産業中分類別)
- 市全域/中心市街地エリア/特化係数(市全域、中心市街地エリア)
- 集計項目
 - ・ (H21,H26、H28)従業者数、事業所数、売上(収入)金額
 - ・ (H24)売上原価、給与総額、租税公課、パートアルバイト数、従業者数、事業従事者数、売上(収入)、付加価値額、事業所数

■ 商業統計の項目と対応する経済センサス(H28) の卸・小売業 小分類集計を追加

- H26商業統計
- 商品販売額、小売り販売額、売場面積、駐車場台数、飲食部門収入額、サービス業収入額等
- H28 経済センサス(卸・小売業)
- 商品販売額、売場面積等

■ 整備スケジュール

- 8月～11月 経済センサス(H28)データ集計
- 12月～1月 秘匿処理～ 街元気サイト掲載加工

統計情報の拡充

■ 経済センサス(H28) 中心市街地範囲の集計値 (事業所数)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
	市区町村コード	市町村名	G_情報通信業	G_37_通信業	G_38_放送業	G_39_情報サービス業	G_40_インターネット随サービス業	G_41_映像・音声・文字情報制作業	I_卸売業、小売業	I_50_各種商品卸売業	I_51_繊維・衣服等卸売業	I_52_飲食料品卸売業	I_53_建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	I_54_機
1														
2	01202	函館市	47	5	3	18	4	17	811		6	52	16	
3	01203	小樽市	19	2	2	5	2	8	759	1	9	44	48	
4	01204	旭川市	58	6	5	16	2	29	790	1	23	27	22	
5	01207	帯広市	27	5	4	11	3	4	372	1	6	16	14	
6	01208	北見市	17	3	2	7		5	176		4	5	7	
7	01210	岩見沢市	22	1	2	12	1	6	195		1	7	6	
8	01214	稚内市	4			1		3	108			8	5	
9	01225	滝川市	4		1	3			136	1		3	4	
10	01226	砂川市	1					1	111			3	3	
11	01229	富良野市	2					2	140			5	6	
12	02201	青森市	28	3	1	10		14	548		2	36	6	
13	02202	弘前市	28	2	5	8	3	10	592			15	12	
14	02203	八戸市	27		5	10	4	8	433	1	4	13	16	
15	02206	十和田市	7		1	1	1	4	238			18	2	
16	02207	三沢市	6				2	4	253		1	6	7	
17	03201	盛岡市	114	6	7	63	5	33	969	2	10	49	40	
18	03207	久慈市	4		1			3	136			6		
19	03208	遠野市	0						118			8	1	

街元気サイトの確実な管理運営

■ サイトを構成するソフトウェアのセキュリティ維持

- 街元気サイトの継続的なセキュリティ確保を行うため、継続的にセキュリティパッチの適用を実施。

■ 月次のアクセス状況の報告

■ サイトのセキュリティ対策・脆弱性対策

- 毎月プラットフォーム診断(脆弱性検査)を実施し、新たな脆弱性が発生していれば修正対応を行う。

■ 不審なアクセス元の遮断

- 定期的なログのチェックで、不審な挙動のアクセス元(同じアクセス元からの短時間集中アクセス等)を遮断

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(4月)

4/1(月)

・その他のお知らせのコンテンツ(中心市街地で活用できる低利融資制度のご案内)を公開した。

4/3(水)

・マチイベデータを8件登録した。
・補助金等の公募情報のコンテンツを公開した。
・3月分のアクセスログを取得した。

4/5(金)

・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

4/9(火)

・補助金等の公募情報のコンテンツを公開した。
・役に立つ統計情報(中心市街地統計情報)のコンテンツを更新した。

4/12(金)

・マチイベデータを2件修正した。
・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

4/17(水)

・マチイベデータを12件登録した。

4/19(金)

・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

4/26(金)

・マチイベデータを2件修正、2件登録した。
・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(5月)

5/8(水)

- ・マチイベデータを8件登録した。
- ・4月分のアクセスログを取得した。

5/10(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

5/16(木)

- ・マチイベデータを2件修正、5件登録した。

5/17(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

5/20(月)

- ・ユーザーの依頼によりメルマガの配信を停止した。
- ・役に立つ統計情報のファイル差し替え、コンテンツを修正した。

5/22(水)

- ・マチイベデータを8件登録した。
- ・各種メールのシグネチャを変更した。

5/24(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

5/30(木)

- ・マチイベデータを8件登録した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(6月)

6/5(水)

- ・マチイベデータを5件登録した。
- ・5月分のアクセスログを取得した。
- ・gmailメール送信エラーの対応を行った。

6/7(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

6/10(月)

- ・不正なアクセスがあった為、F/WIにてシャットアウトの設定を行った。

6/12(水)

- ・マチイベデータを3件登録した。

6/14(金)

- ・補助金等の公募情報のコンテンツを公開した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

6/19(水)

- ・マチイベデータを3件登録した。

6/20(木)

- ・不正なアクセスがあった為、F/WIにてシャットアウトの設定を行った。

6/21(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

6/24(月)

- ・ユーザーの依頼によりメルマガの配信を停止した。

6/26(水)

- ・マチイベデータを9件登録した。

6/28(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(7月)

7/3(水)

- ・6月分のアクセスログを取得した。
- ・マチイベデータを7件登録した。

7/5(金)

- ・マチイベデータを1件更新した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

7/10(水)

- ・マチイベデータを5件登録した。

7/16(火)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

7/17(水)

- ・マチイベデータを5件登録した。

7/19(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

7/24(水)

- ・マチイベデータを6件登録した。

7/26(金)

- ・ユーザーの依頼によりユーザーのメールアドレスを変更した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

7/31(水)

- ・マチイベデータを6件登録した

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(8月)

8/1(木)

・役に立つ統計情報(商店街実態調査)のコンテンツを更新した

8/2(金)

・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

8/5(月)

・7月分のアクセスログを取得した。
・ユーザーの依頼によりメルマガの配信を停止した。

8/7(水)

・マチイベデータを6件更新した。

8/9(金)

・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

8/15(木)

・マチイベデータを5件登録した。

8/16(金)

・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

8/21(水)

・マチイベデータを4件登録した。

8/23(金)

・補助金等の公募情報のコンテンツを公開した
・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

8/28(水)

・マチイベデータを4件登録した。
・インターン型研修(富良野市)のコンテンツを公開した。

8/30(金)

・補助金等の公募情報のコンテンツを公開した。
・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(9月)

9/4(水)

- ・8月分のアクセスログを取得した
- ・マチイベデータを4件登録した

9/6(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した
- ・座学研修(東京)のコンテンツを公開した

9/11(水)

- ・マチイベデータを5件登録した

9/13(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

9/18(水)

- ・インターン型研修(守山市)のコンテンツを公開した

9/19(木)

- ・マチイベデータを4件登録した

9/20(金)

- ・メールマガジンの停止方法について公開した
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

9/25(水)

- ・マチイベデータを4件登録した

9/26(木)

- ・インターン型研修(富良野市)のコンテンツを更新した

9/27(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

9/30(月)

- ・座学研修(東京)のコンテンツを更新した

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(10月)

10/1(火)

- ・インターン型研修(富良野市)のコンテンツを更新した
- ・インターン型研修(山形市)のコンテンツを公開した

10/2(水)

- ・マチイベデータを4件登録した
- ・9月分のアクセスログを取得した

10/3(木)

- ・マチイベデータを1件更新した

10/4(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

10/8(火)

- ・インターン型研修(富良野市)の募集を終了した

10/9(水)

- ・マチイベデータを4件登録した

10/10(木)

- ・不正なアクセスがあった為、F/WIにてシャットアウトの設定を行った

10/11(金)

- ・まちづくりオープン会議のコンテンツを公開した
- ・マチイベデータを1件更新した
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

10/15(火)

- ・座学研修(東京)の募集を終了した

10/17(木)

- ・マチイベデータを4件更新、4件登録した
- ・SSL証明書(machigenki.jp)を更新した

10/18(金)

- ・インターン型研修(青梅市)のコンテンツを公開した
- ・インターン型研修(周南市)のコンテンツを公開した
- ・ユーザーの依頼によりメルマガの配信を停止した
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

10/23(水)

- ・マチイベデータを4件登録した

10/25(金)

- ・マチイベデータを2件登録した
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

10/28(月)

- ・インターン型研修(守山市)の募集を終了した
- ・インターン型研修(山形市)の募集を終了した

10/30(水)

- ・マチイベデータを7件登録、1件更新した

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(11月)

11/1(金)

・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

11/6(水)

・マチイベデータを8件登録した
・10月分のアクセスログを取得した

11/8(金)

・マチイベデータを3件更新した
・オープン会議の募集を終了した
・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

11/14(木)

・マチイベデータを4件登録した

11/15(金)

・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

11/19(火)

・インターン型研修(青梅市、周南市)の募集を終了した

11/20(水)

・マチイベデータを5件登録した
・座学研修の概要コンテンツを公開した

11/22(金)

・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

11/27(水)

・マチイベデータを5件登録、1件更新した
・「補助金等の公募情報」の表記文言を変更した

11/29(金)

・街元気サイト会員からの依頼内容、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(12月)

12/4(水)

- ・マチイベデータを6件登録した
- ・「中心市街地活性化協議会支援センター」のロゴリンクURLを変更した
- ・11月分のアクセスログを取得した

12/6(金)

- ・「まちづくりの支援情報」コンテンツ内の「中心市街地活性化協議会支援センター」のリンクURLを変更した
- ・政策・統計情報、経済産業省等からのご案内、マチイベ!等について等をメルマガで告知した

12/11(水)

- ・マチイベデータを5件更新した
- ・facebookロゴ画像を最新版に更新した

12/13(金)

- ・地域固有のまちづくり課題解決型研修のコンテンツを公開した
- ・政策・統計情報、経済産業省等からのご案内、マチイベ!等についてをメルマガで告知した

12/18(水)

- ・マチイベデータを5件登録した
- ・ユーザーの依頼によりメルマガの配信を停止した
- ・地域固有のまちづくり課題解決型研修のご案内等をメルマガで告知した

12/20(金)

- ・研修、経済産業省等からのご案内、マチイベ!について等をメルマガで告知した

12/26(木)

- ・研修、経済産業省等からのご案内、マチイベ!について等をメルマガで告知した

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(1月)

1/8(水)

- ・マチイベデータを6件登録、1件更新した
- ・12月分のアクセスログを取得した

1/9(木)

- ・ユーザーの依頼によりメルマガの配信を停止した
- ・研修、経済産業省等からのご案内、マチイベ!等についてをメルマガで告知した

1/10(金)

- ・補助金等の公募情報のコンテンツを公開した
- ・マチイベデータを1件更新した

1/15(水)

- ・マチイベデータを5件更新した

1/17(金)

- ・経済産業省等からのご案内、マチイベ!等についてをメルマガで告知した

1/21(火)

- ・次世代会議のコンテンツを公開した

1/22(水)

- ・マチイベデータを7件登録した

1/24(金)

- ・次世代会議、経済産業省等からのご案内、マチイベ!等についてをメルマガで告知した

1/28(火)

- ・役に立つ統計情報のコンテンツを更新した

1/29(水)

- ・マチイベデータを7件登録した

1/31(金)

- ・次世代会議、経済産業省等からのご案内、マチイベ!等についてをメルマガで告知した

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(2月)

2/5(水)

・マチイベデータを10件登録した

2/7(金)

・マチイベデータを2件更新した
・研修、経済産業省等からのご案内、マチイベ!等についてをメルマガで告知した

2/12(水)

・マチイベデータを3件更新した

2/14(金)

・研修、経済産業省等からのご案内、マチイベ!等についてをメルマガで告知した

2/19(水)

・マチイベデータを3件登録した
・SSL証明書(machigenki.go.jp)を更新した
・研修・オープン会議概要 のコンテンツを更新した
・ユーザーの依頼により登録メールアドレスを変更した

2/21(金)

・研修、経済産業省等からのご案内、マチイベ!等についてをメルマガで告知した

2/26(水)

・マチイベデータを3件登録した

2/28(金)

・研修、経済産業省等からのご案内、マチイベ!等についてをメルマガで告知した

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(3月)

3/5(木)

- ・マチイベデータを1件登録した
- ・2月分のアクセスログを取得した

3/6(金)

- ・経済産業省等からのご案内、マチイベ!について等をメルマガで告知した。

3/9(月)

- ・ユーザーの依頼によりまちづくり掲示板にトピックを掲載した。

3/10(火)

- ・ユーザーの依頼によりまちづくり掲示板にトピックを掲載した。

3/11(水)

- ・マチイベデータを3件登録、1件削除した。

3/13(金)

- ・経済産業省等からのご案内、マチイベ!について等をメルマガで告知した。

3/18(水)

- ・マチイベデータを2件登録した。
- ・サイトからのお知らせ(街元気サイト終了のお知らせ)のコンテンツを公開した。

3/19(木)

- ・経済産業省等からのご案内、マチイベ!について等をメルマガで告知した。

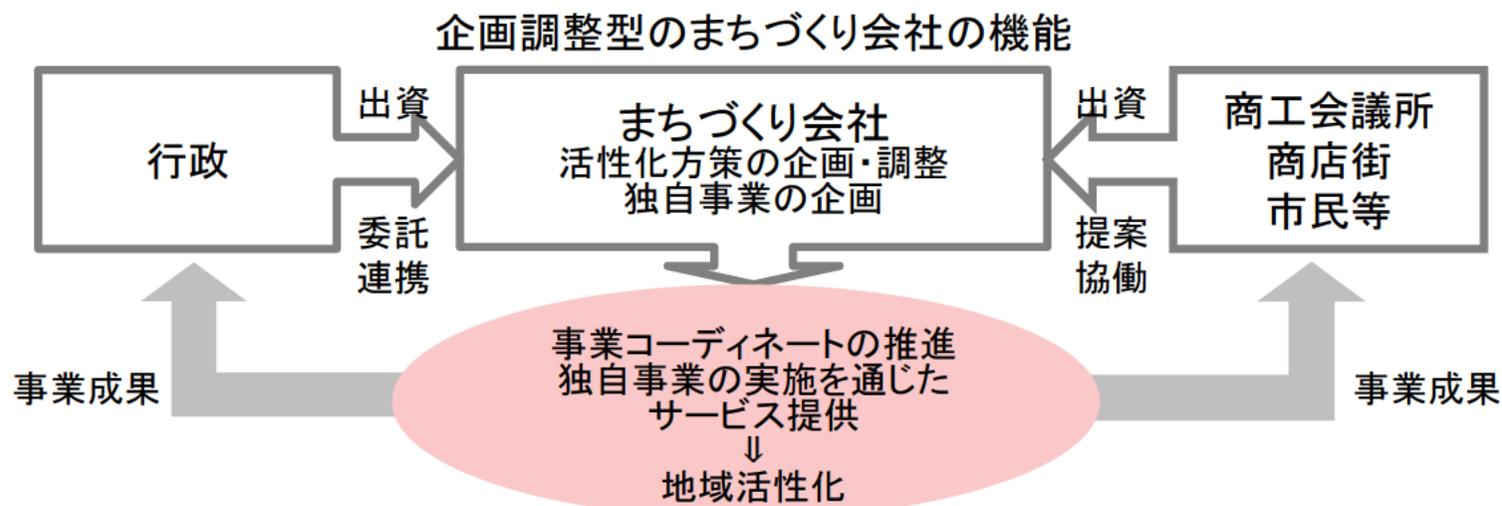
(3)まちづくり成功事例の調査・要因分析

※ 仕様書項目「(4)まちづくり成功事例の調査・要因分析」における「ポータルサイト等での情報発信による成功事例の横展開」については、経済産業省と相談の上、経済産業省のウェブサイト上に掲載することとした。

(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | 検討のねらい

企画調整型のまちづくり会社の財務状況に焦点を当てて分析

- まちづくり会社は、一般的に「良好な市街地を形成するためのまちづくりの推進を図る事業活動を行うことを目的として設立された会社等」と定義されるが、その性格は時代とともに変化している。
- 中心市街地活性化が注力されるようになった1990年代は、再開発の担い手となる推進機関が多数を占めていたが、2000年代に入って都市開発事業を直接実施するのではなく、中心市街地活性化協議会や、事業のコーディネート機能を担う企画調整型のまちづくり会社が多数設立されるようになった。
- 一方、コーディネート機能に特化したまちづくり会社は、収益基盤となる事業を有していない場合が多く、活動のための財源確保が課題となっているケースが散見される。
- このような現状を踏まえ、今後のまちづくり会社の運営の一助になることを期待し、企画調整型のまちづくり会社の財務状況に焦点を当てた分析結果をとりまとめた。



(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | 分析の前提条件(使用データとアプローチ)

財務に焦点を当てた分析を行うため、総務省「第3セクター等の経営状況に関する調査」(平成30年)を利用できる215団体(財務データは162団体)を対象に検討

- 公共・公益サービスの提供を担う数多くの団体について財務情報の利用が可能な資料として下記を活用
 - 総務省「第3セクター等の経営状況に関する調査」(平成30年) ※データは平成29年度実績
 - ・ 調査対象団体: 特例民法法人、公益・一般社団法人、公益・一般財団法人、株式会社、特例有限会社、合同会社、地方住宅供給公社、地方道路公社、土地開発公社、地方独立行政法人 7,500団体
 - ・ 留意事項: NPOは調査対象外

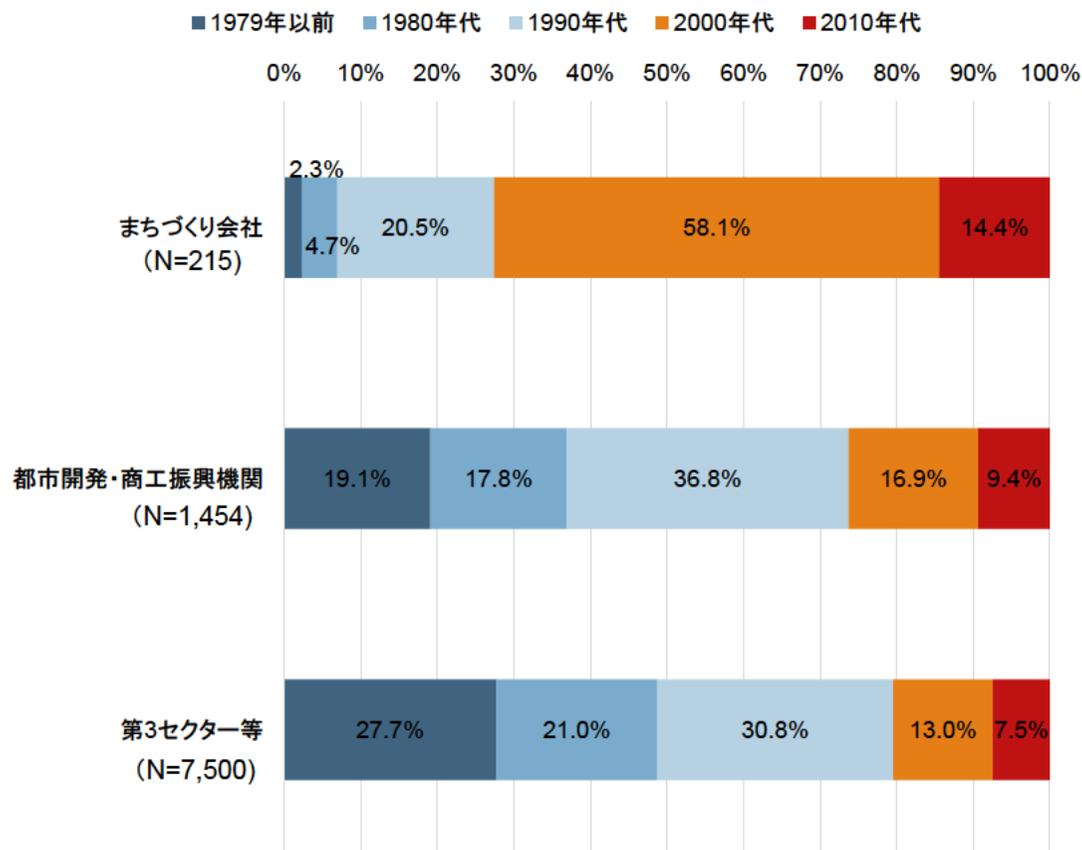
- 調査対象(まちづくり会社に該当する団体)
 - 上記の資料から事業概要に基づき215団体を抽出(うち財務情報利用可能団体162団体)
 - ・ 経済産業省作成のまちづくり会社リストに該当する事業者 178団体
 - ・ 事業概要に基づく抽出 37団体
 - ・ 事業概要に「中心市街地」という表記がある団体
 - ・ まちづくりの企画調整に取り組んでいると考えられる団体

- 比較対象団体
 - 地域・都市開発、商工観光振興機関(以下「都市開発・商工振興機関」): 上記統計でまちづくり会社が含まれる業務区分の団体1,454団体(うち財務情報利用可能団体1,047団体)
 - ・ 該当業務分類: 「2.都市再開発等の都市整備」「4.その他地域・都市開発関係」「59.不動産管理」「8.その他住宅関係」「13.その他観光・レジャー関係」「22.その他商工関係」「53.その他」
 - ・ 「33.駐車場」「40.社会教育施設の管理」「44.その他教育・文化関係」はまちづくり会社該当団体が全体のうち少ないため省く。
 - 第3セクター等: 「第3セクター等の経営状況に関する調査」の対象7,500団体(うち財務情報利用可能団体6,253団体)

(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 1. まちづくり会社の基本的な特性 | 設立年

まちづくり会社は、2000年代に設立された団体が多く、第3セクター等の公共公益機関としては新しい組織。設立年が古いまちづくり会社は市街地開発を目的とする会社が多い。

まちづくり会社の設立年



設立が古いまちづくり会社例

設立年	会社名
1968	岐阜市にぎわいまち公社
1971	福知山まちづくり
1972	新潟地下開発
1973	小樽駅前ビル
1978	高槻都市開発
1985	逆瀬川都市開発
1985	パルティ川西
1986	足立市街地開発
1986	川西都市開発
1986	南紀みらい

設立が新しいまちづくり会社例

設立年	会社名
2018	まちづくりなみえ
2017	まちづくり村田
2016	セケ宿まちづくり
2016	まちづくり伊達
2016	まちづくり寄居
2016	まちづくり府中
2016	笠置まちづくり
2016	にぎわい宇部
2016	まちづくり延岡
2015	元気いしのまき
2015	まちづくり武生
2015	まちづくり柏原
2015	こうし未来研究所
2015	まちづくりたけた

(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 1. まちづくり会社の基本的な特性 | 業務内容

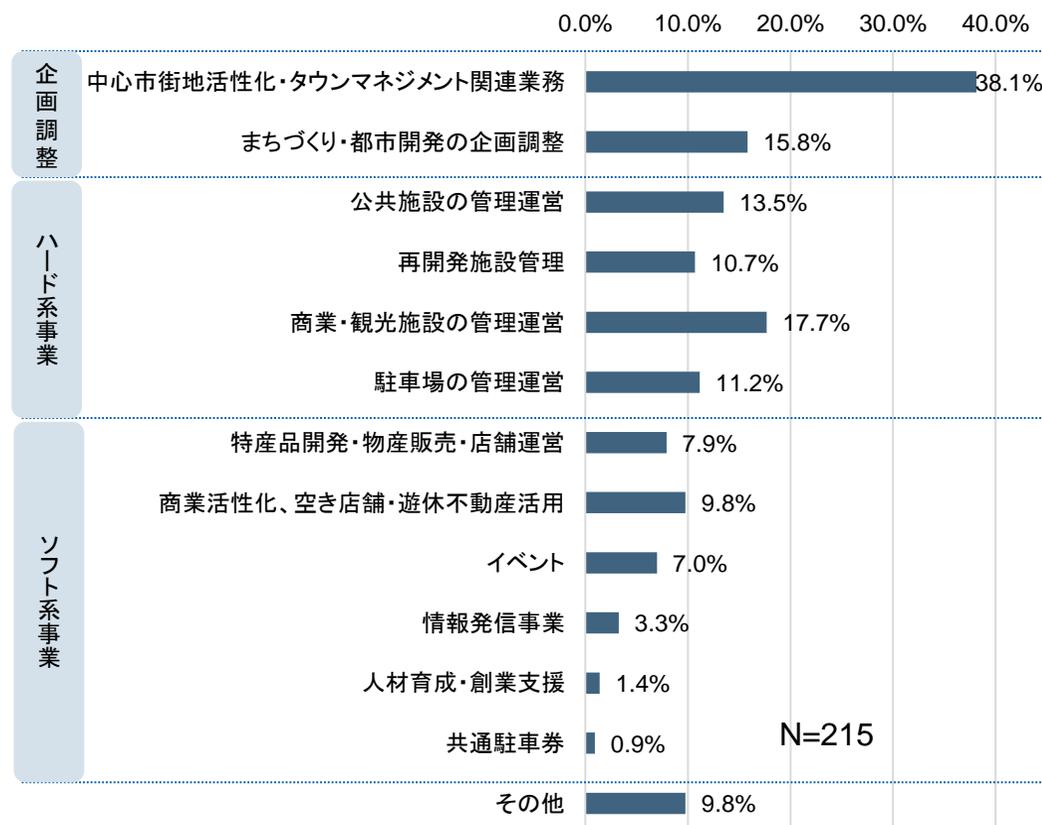
まちづくり会社は、まちづくりの推進を図る事業活動として、企画・調整業務のほかに、再開発、施設管理業務などを実施している場合が多い。

まちづくり会社等の主な業務分野

業務分野	まちづくり会社	地域・都市開発、 商工振興機関	第3セクター等
地域・都市開発関係	73	348	1,140
住宅・都市サービス関係	2	15	119
観光・レジャー関係	15	186	1,100
農林水産関係	0	0	1,179
商工関係	112	387	672
社会福祉・保健医療関係	0	0	421
生活衛生関係	0	0	241
運輸・道路関係	3	0	464
教育・文化関係	3	0	1,084
公害・自然環境保全関係	0	0	71
情報処理関係	0	0	83
国際交流関係	0	0	101
その他	7	518	825
合計	215	1,454	7,500

注) 各団体の主要業務分野はひとつ

まちづくり会社の業務内容



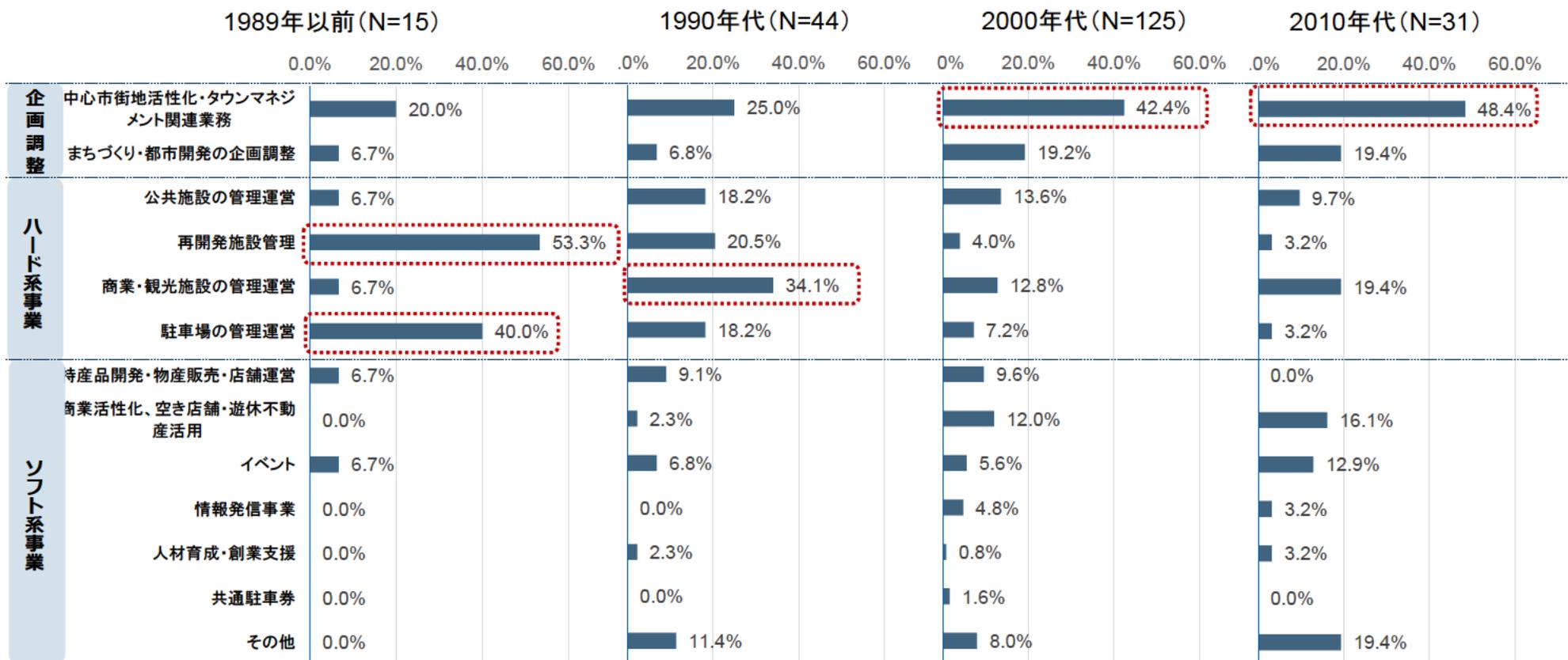
※ 総務省「第3セクター等の経営状況に関する調査」に記載されている主要業務内容をもとに集計

※ 団体別に複数業務が該当する場合もあるとして集計

(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 1. まちづくり会社の基本的な特性 | 業務内容

設立年次別にみると1989年以前は再開発施設の運営管理、1990年代は商業・観光施設の運営管理が多い。2000年代以降は中心市街地活性化・タウンマネジメント関連業務にシフト

設立年別にみたまちづくり会社の業務内容

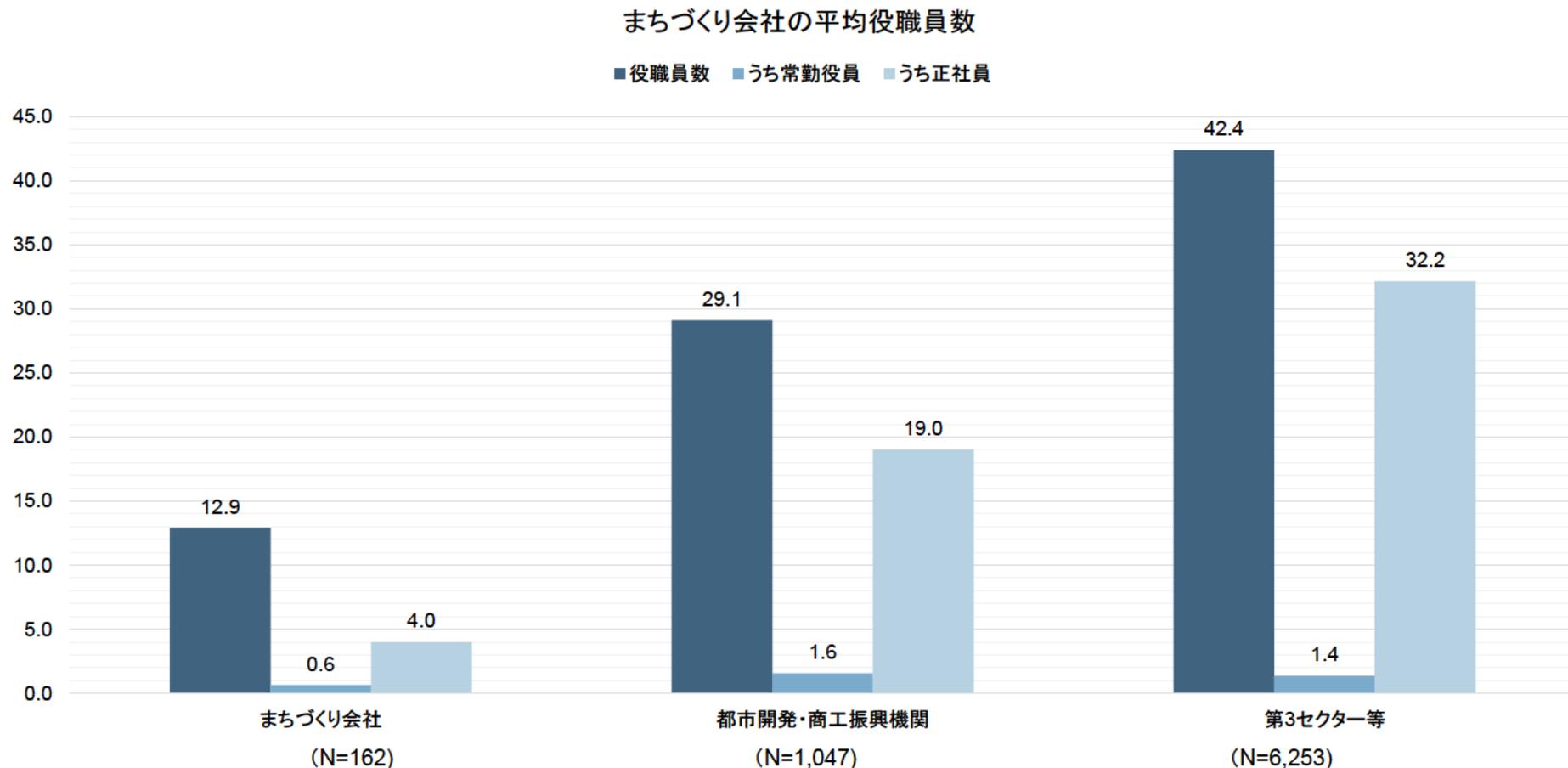


※ 総務省「第3セクター等の経営状況に関する調査」に記載されている主要業務内容をもとに集計

※ 団体別に複数業務が該当する場合もあるとして集計

(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 1. まちづくり会社の基本的な特性 | 役職員数

まちづくり会社の常勤役職員数は平均4.6人。常勤役職員の割合が小さく、正社員が少ないまちづくり会社も存在。正社員が多いのは施設管理、販売事業等の実施団体。

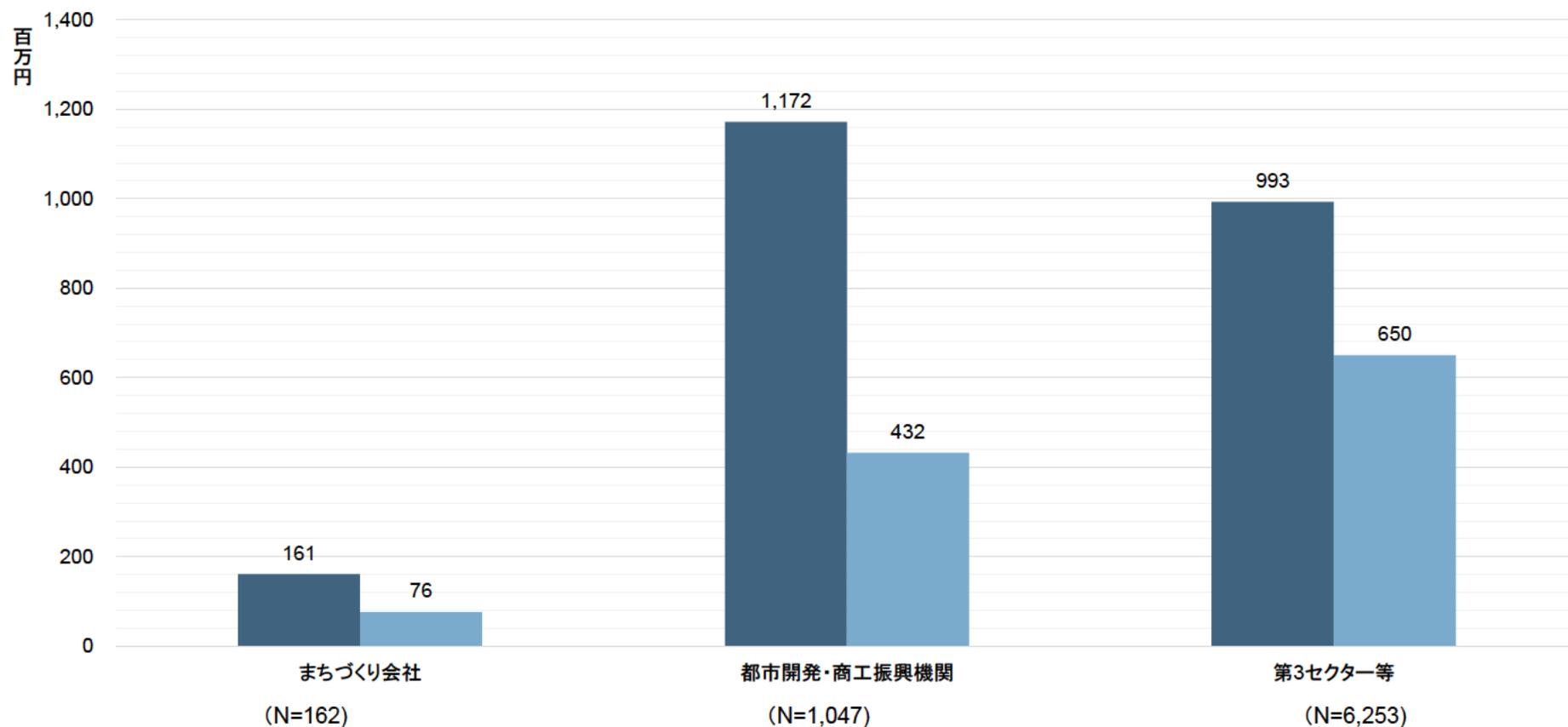


(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 2. 財務構造からみたまちづくり会社の特徴 | 出資総額

まちづくり会社への出資総額は平均1.6億円であり、公共公益機関としては小規模出資総額は都市開発・商工振興機関が大きい。

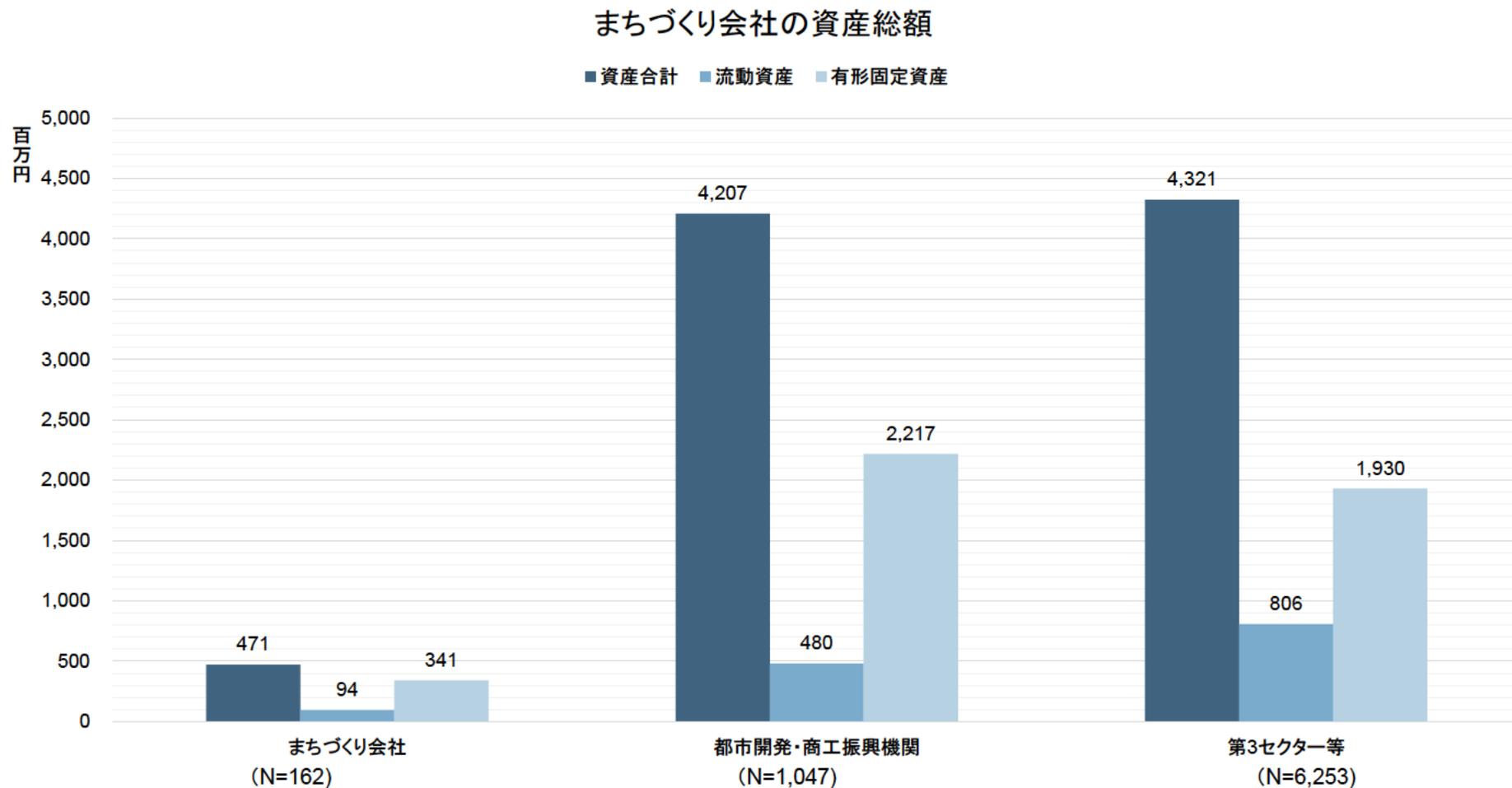
まちづくり会社の出資総額

■ 出資総額 ■ うち地方公共団体

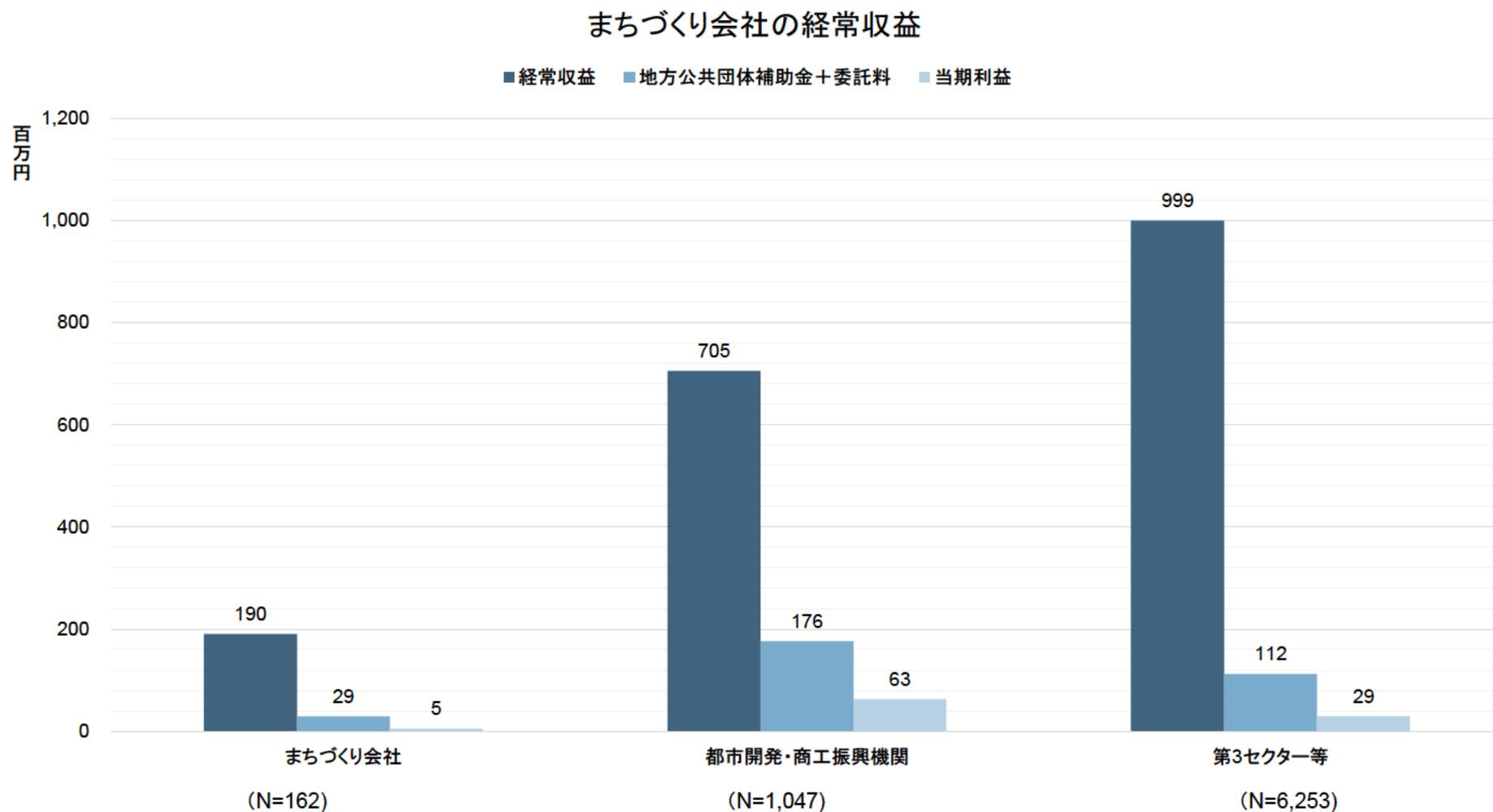


(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 2. 財務構造からみたまちづくり会社の特徴 | 資産総額

まちづくり会社の資産規模は平均4.7億円であり、公共公益機関としては小規模資産に占める有形固定資産の比率が約7割と高い。

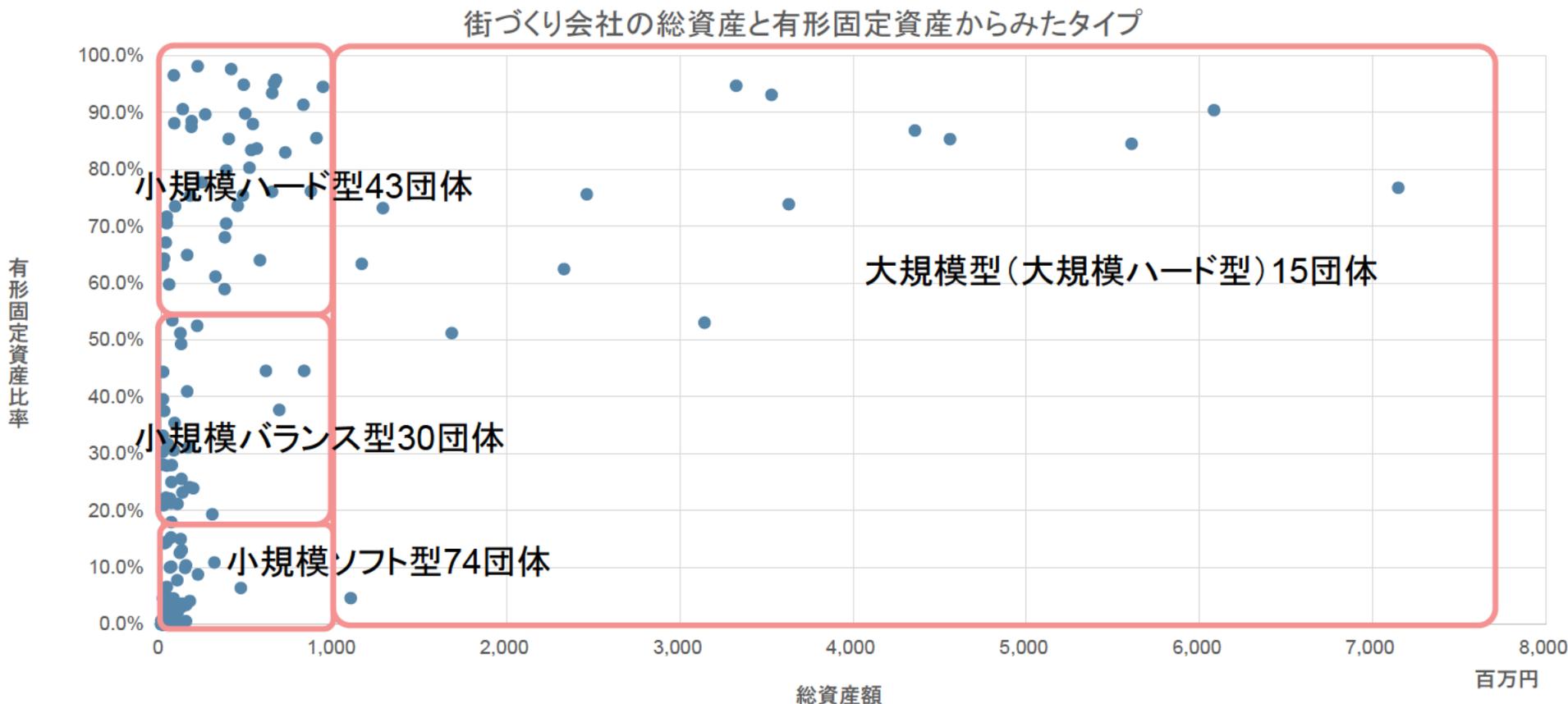


まちづくり会社の経常収益は平均1.9億円、当期利益5百万円であり、 公共公益機関としては小規模



(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 2. 財務構造から見たまちづくり会社の特徴 | 財務タイプ別の特徴

まちづくり会社といっても事業内容、事業規模が様々である。事業体としての性格への影響が大きい規模と有形固定資産に着目し4タイプに分けて特徴をみた。



※大規模タイプは、資産規模10億円以上の団体と想定(基本的に有形固定資産比率は50%以上、左下例外は駐車場運営団体)

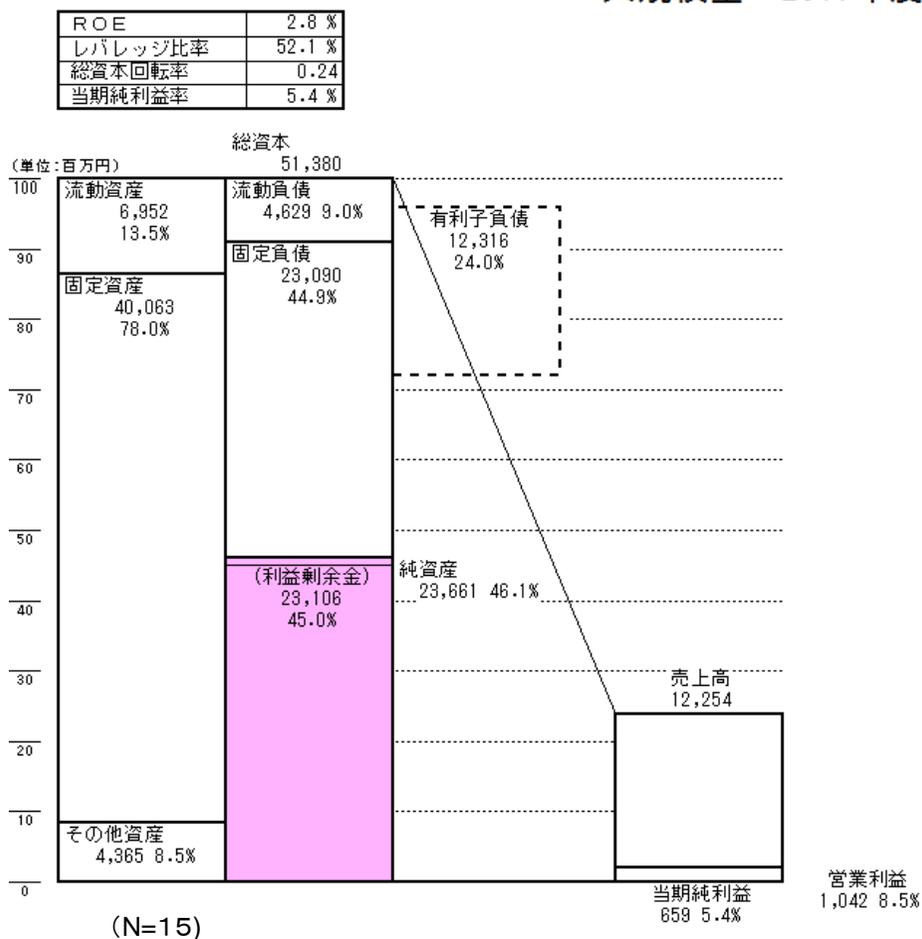
※小規模タイプは、平均と分散を考慮し、有形固定資産比率で区分。ハード型53%以上、バランス型18%以上。ソフト型18%未満

- ・小規模ハード型 : 資産規模10億円未満で有形固定資産比率が53%以上の団体
- ・小規模バランス型 : 資産規模10億円未満で有形固定資産比率が18%以上53%未満の団体
- ・小規模ソフト型 : 資産規模10億円未満で有形固定資産比率が18%未満の団体

(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 2. 財務構造からみたまちづくり会社の特徴 | 財務タイプ別の特徴

大規模 (ハード) 型は、資産規模、収益ともまちづくり会社としては大きく、経済的な存在感がある。資産を保有しているため、固定比率は高いが、経営指標上は安定している。

大規模型 2017年度



貸借対照表 (総資本比)

資産の部		
流動資産	8,952	13.5
固定資産	40,063	78.0
その他資産	4,365	8.5
総資産	51,380	100.0

負債の部		
流動負債	4,629	9.0
固定負債	23,090	44.9
(有利子負債)	12,316	24.0
純資産の部		
純資産合計	23,661	46.1
(利益剰余金)	23,106	45.0
総資本	51,380	100.0

損益計算書 (売上高比)

売上高	12,254	100.0
粗利	0	0.0
営業利益	1,042	8.5
当期純利益	659	5.4

財務指標

流動比率	150.2%
固定比率	169.3%
固定長期適合率	85.7%
自己資本比率	46.1%

営業利益
1,042 8.5%

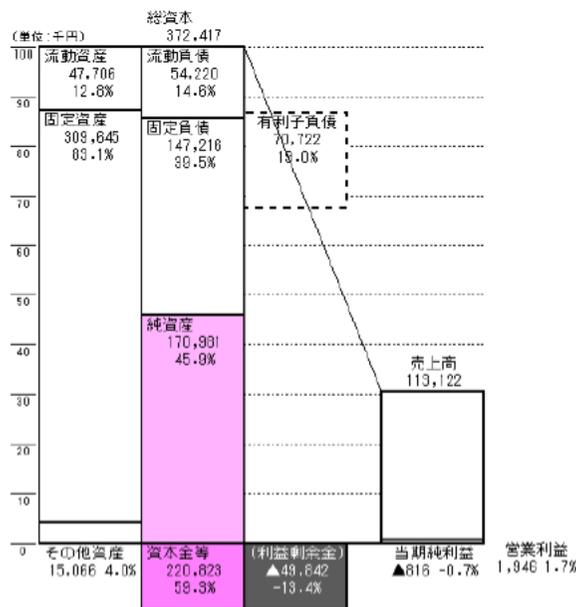
(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 2. 財務構造からみたまちづくり会社の特徴 | 財務タイプ別の特徴

規模が小さいまちづくり事業タイプによって、事業構造が異なる。ハード型は、**経常利益、繰越剰余金がマイナス**になっており、**経営上の問題が生じている可能性が大きい**。

- 小規模なまちづくり会社についてタイプ別にみると、ハード型は、減価償却費、支払利息の負担が大きい。減価償却費が大きいためキャッシュフローは確保できているが、将来的な施設更新期に問題が顕在化する可能性がある。

ハード型 2017年度

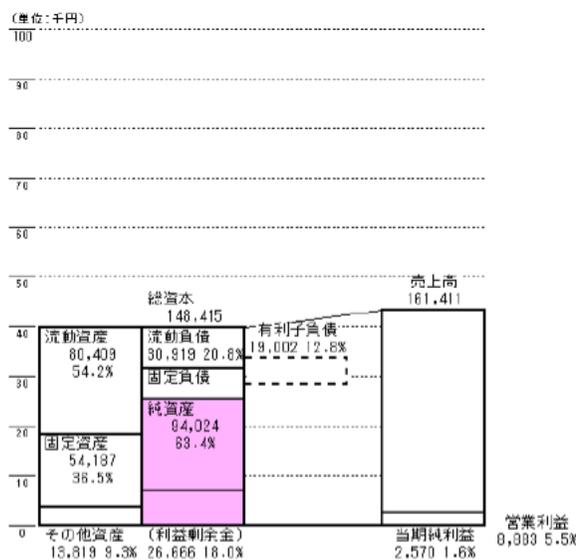
ROE	-0.5%
レバレッジ比率	41.4%
総資本回転率	0.30
当期純利益率	-0.7%



(N=43)

バランス型 2017年度

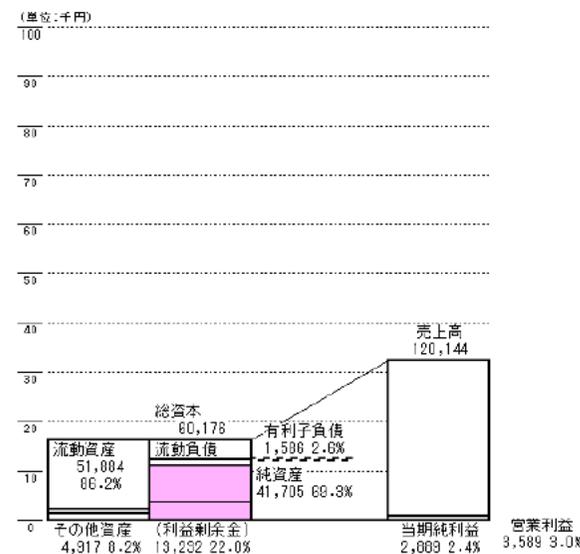
ROE	2.7%
レバレッジ比率	20.2%
総資本回転率	1.1
当期純利益率	1.6%



(N=30)

ソフト型 2017年度

ROE	6.9%
レバレッジ比率	8.8%
総資本回転率	2.0
当期純利益率	2.4%



(N=74)

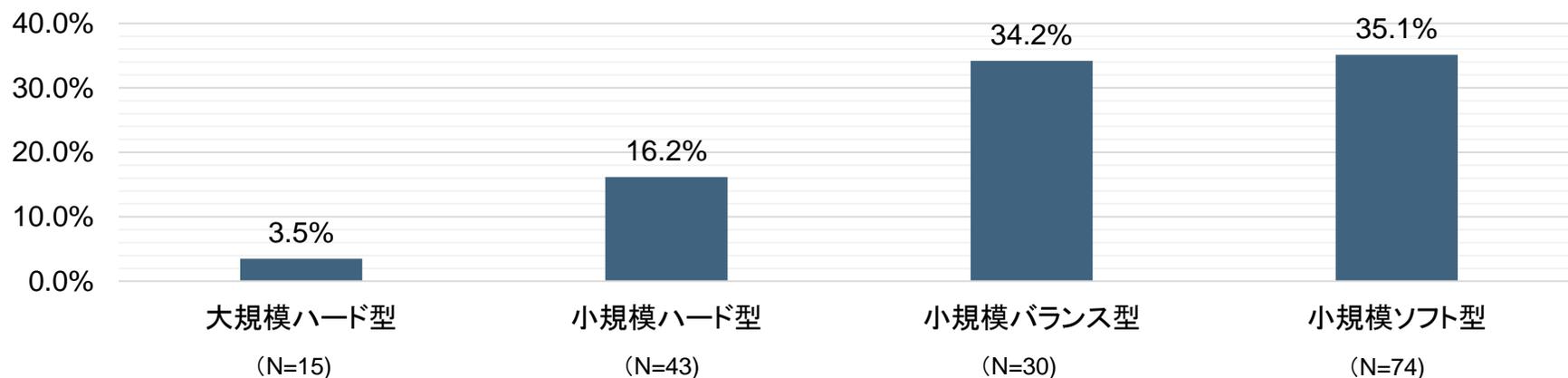
(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 2. 財務構造からみたまちづくり会社の特徴 | 財務タイプ別の特徴

経営指標をみると、小規模ハード型は、持続性に加え、経営の安全性の問題がある。
一方、小規模バランス型・小規模ソフト型は、経常収益に占める行政資金割合が大きい。

タイプ別経営指標

タイプ	効率性			安全性			持続性
	資産回転率	売上高営業利益率	売上高当期利益率	自己資本比率	固定比率	流動比率	繰越利益剰余金
大規模ハード型	23.8%	8.5%	4.5%	46.0%	187.8%	1.5	370,155
小規模ハード型	30.4%	1.7%	-0.7%	45.9%	189.9%	0.9	-49,842
小規模バランス型	108.8%	5.5%	1.6%	63.4%	72.3%	2.6	26,666
小規模ソフト型	199.7%	3.0%	2.4%	69.3%	19.9%	3.6	13,232

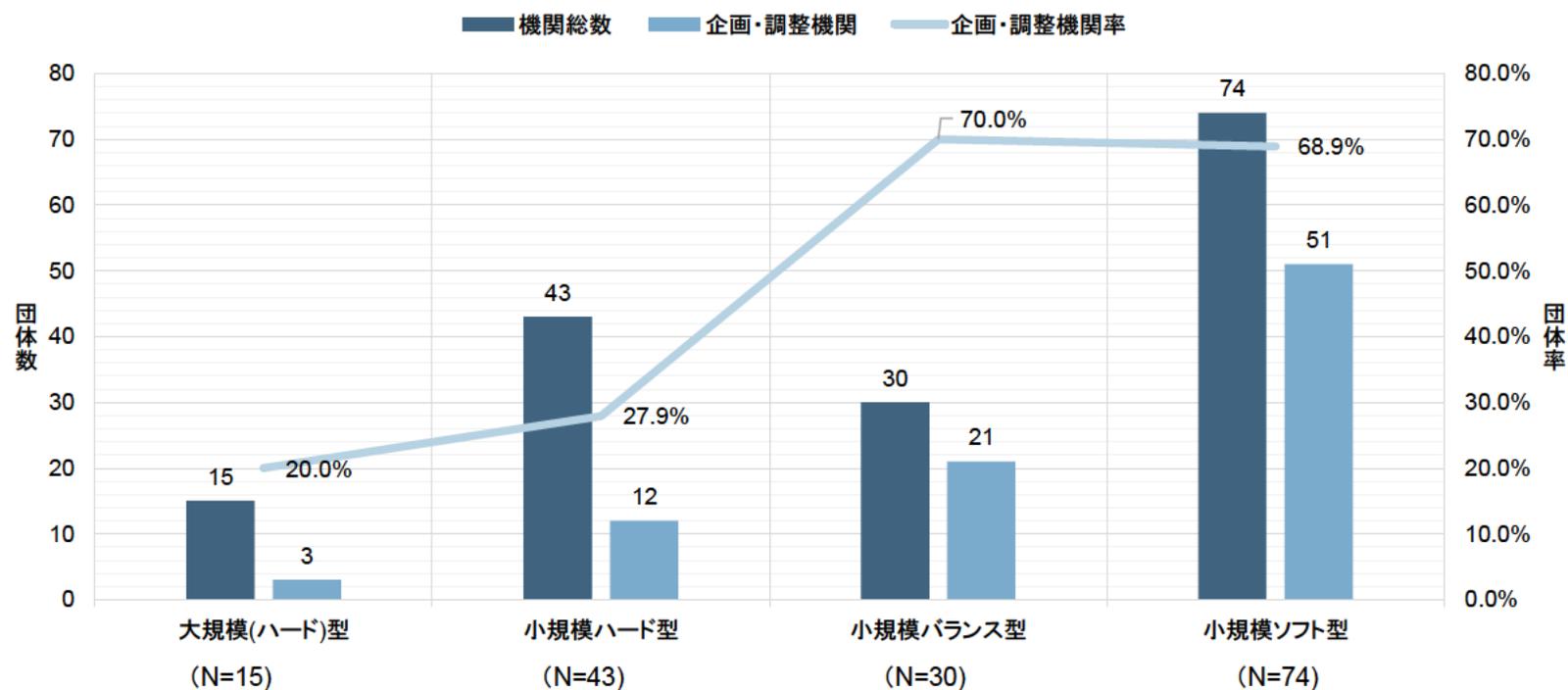
経常収益における地方公共団体からの補助金＋委託費の割合



中心市街地活性化等、まちづくりの企画・調整役を主な業務とするまちづくり会社は、小規模バランス型、ソフト型で約7割と多い。

- 大規模ハード型、小規模ハード型のまちづくり会社では、再開発等の都市開発が中核事業となり、企画・調整的な業務は、付帯的な業務と位置付けられている可能性がある。

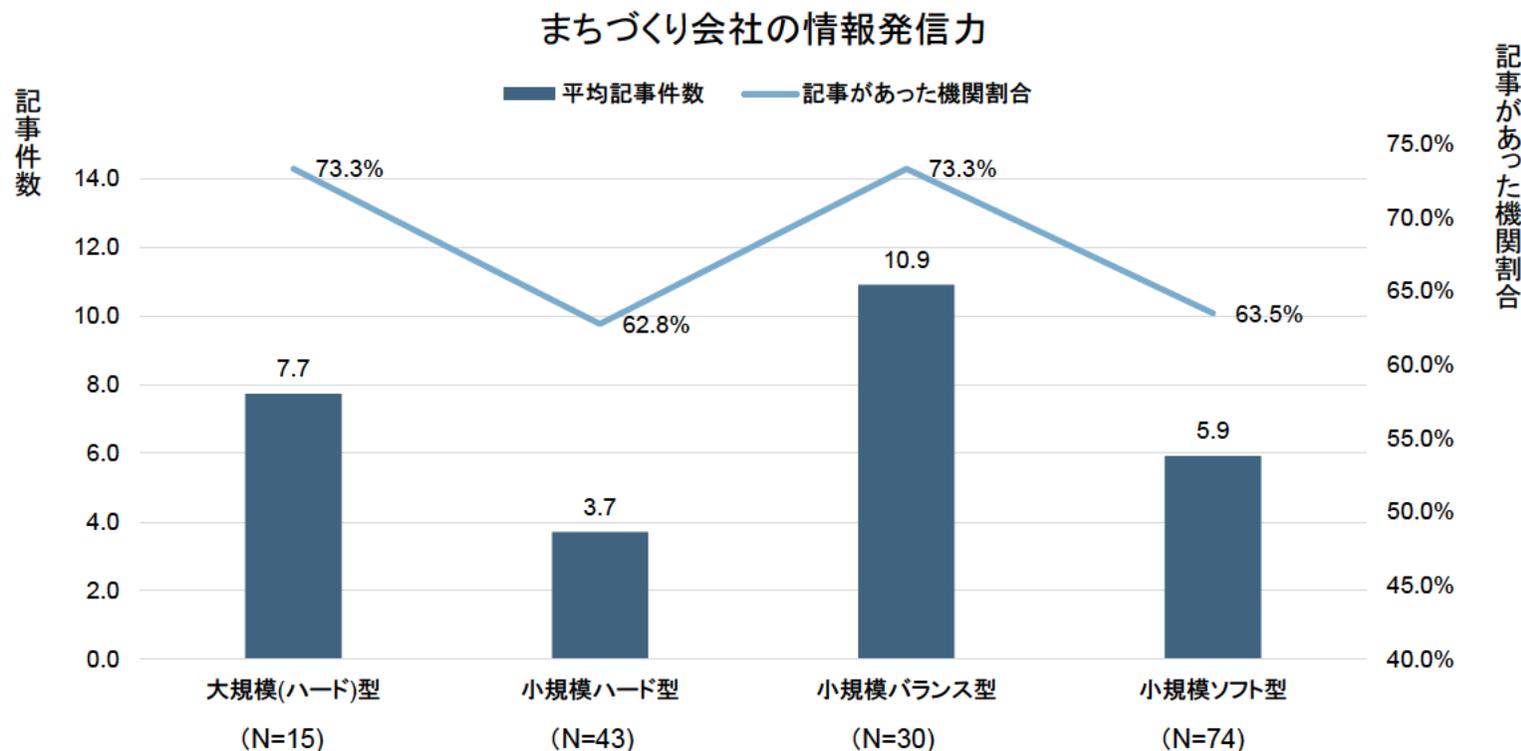
団体・調整を主な業務とする団体の割合



(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 3. まちづくり会社のパフォーマンスとその要因 | 情報発信力

まちづくり会社の新聞記事数は小規模バランス型が多く、大規模ハード型がこれに続いている。記事があったまちづくり会社の割合は6~7割(タイプ別の差は大きくない)。

- 記事数は、特徴的な事業を実施している機関が多く、まちづくり会社の規模というよりは、企画力に依存していると考えられる。

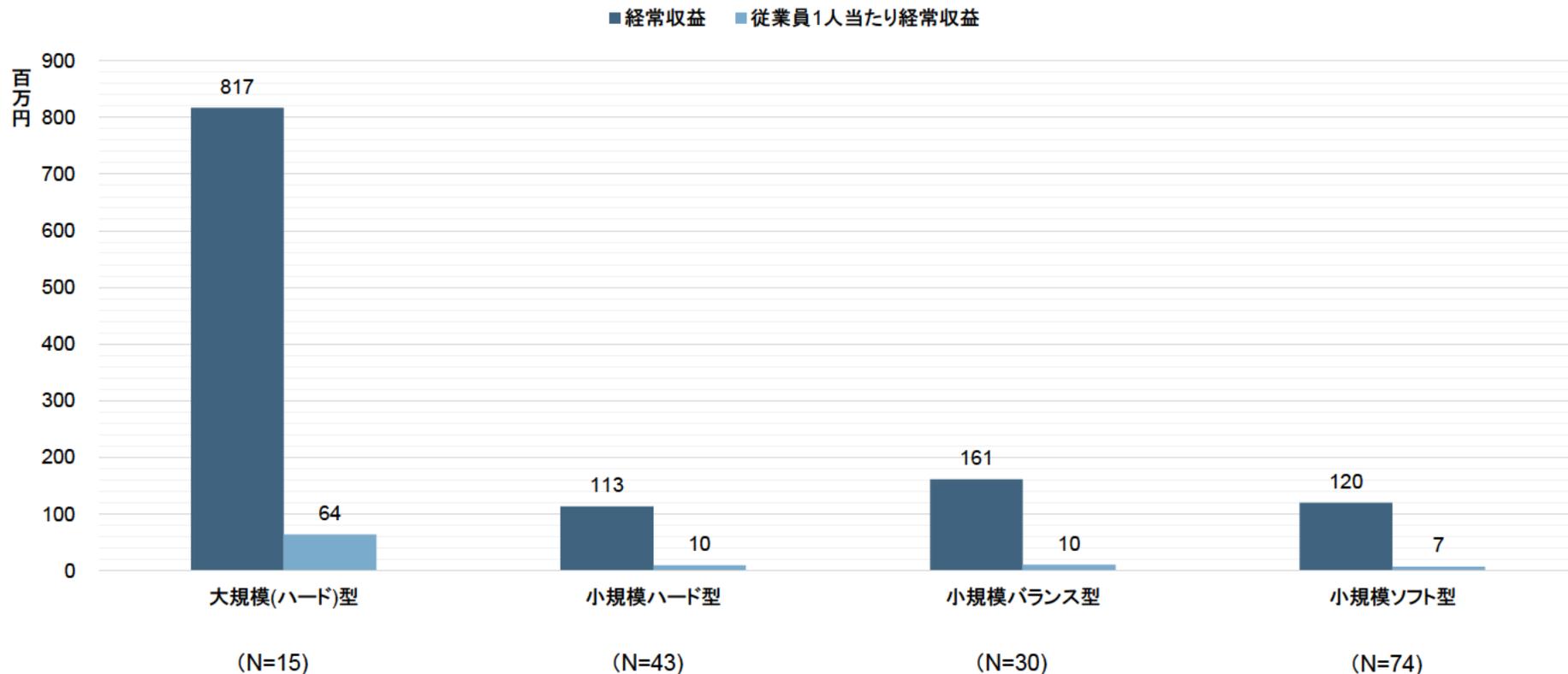


※日経テレコンにおける過去1年間の新聞記事数(2020/02/18時点)

一方、地域経済への影響は、再開発ビルの管理運営など、大規模ハード事業を実施している団体が大きい。

■ 地域経済における存在感は、事業規模が大きい大規模ハード型が大きい。

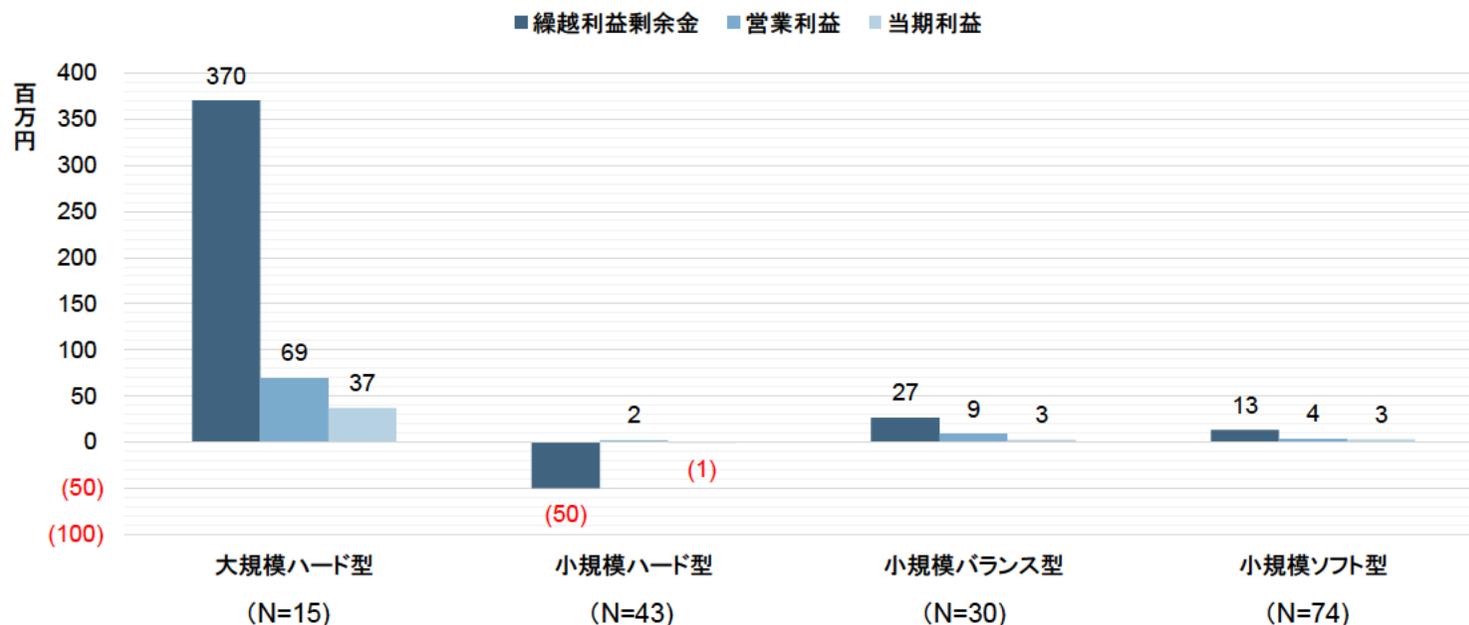
まちづくり会社の経常収益



パフォーマンスを継続してあげるためには、財務的な健全性が必要条件 繰越利益剰余金からみた持続性は小規模ハード型に問題

- 小規模ハード型で、繰越利益がマイナスになっている要因として、営業利益はプラスになっているものの、金利負担を賄っていない状況があげられる。設立時の事業性評価が甘い可能性がある。
- 繰越歴剰余金大きいまちづくり会社は、再開発ビル、駐車場等の管理運営を行っている場合が多い。施設管理がまちづくり会社の財務基盤となっていることが窺われる。

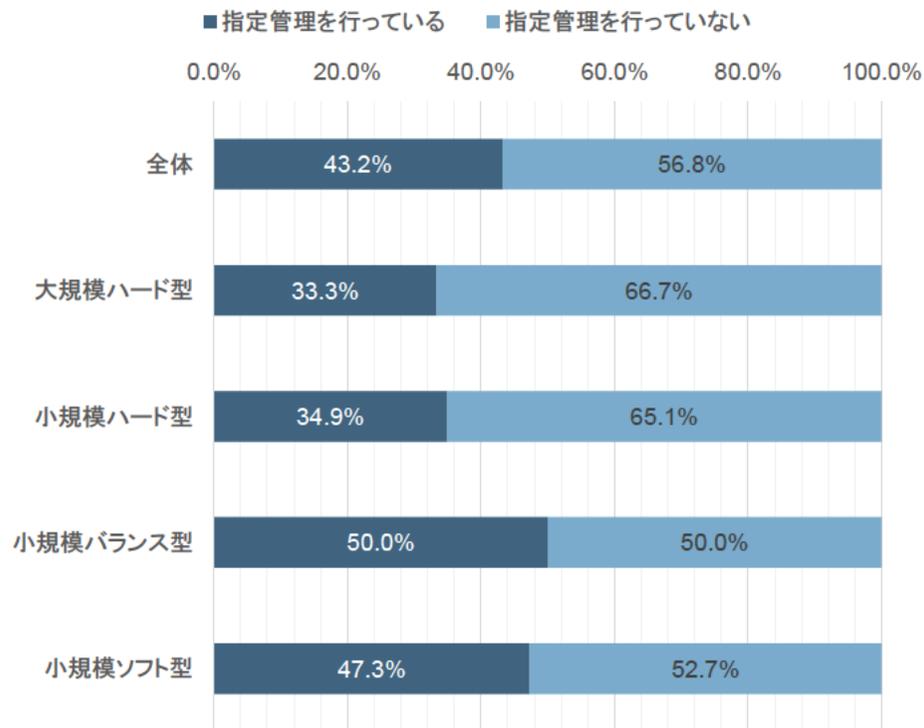
まちづくり会社の持続性



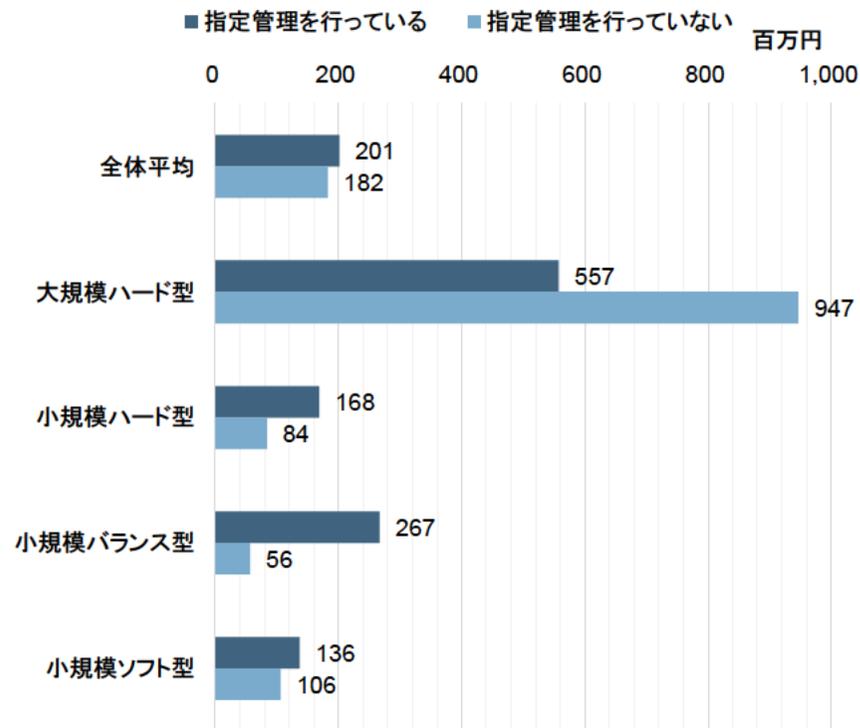
※営業利益 = 当期利益 + 支払利息

**小規模バランス型、小規模ソフト型では約半数の団体が指定管理を受託している。
小規模型の団体では有効な安定収益源となっていることが窺われる。**

指定管理実施の状況



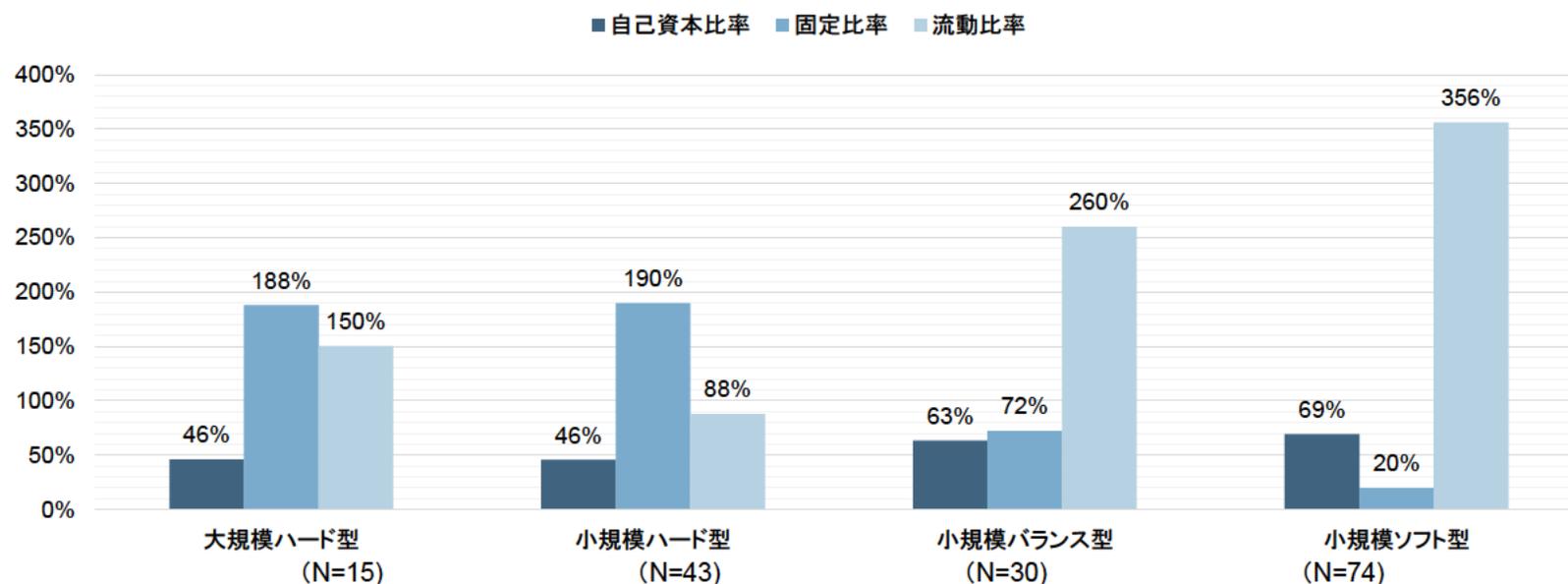
指定管理の有無別経常収益



固定比率、流動比率等の安全性指標からみると、小規模ハード型に問題

- 大規模ハード型、小規模ハード型は、固定比率が高く、固定資産が自己資本よりも大きい状況（有利子負債が負担となる可能性あり）
- 小規模ハード型は、流動比率が100%を下回っており、手元流動性のリスクも存在

まちづくり会社の経営安全性指標



※自己資本比率＝正味資産/総資産

※固定比率＝固定資産/自己資本

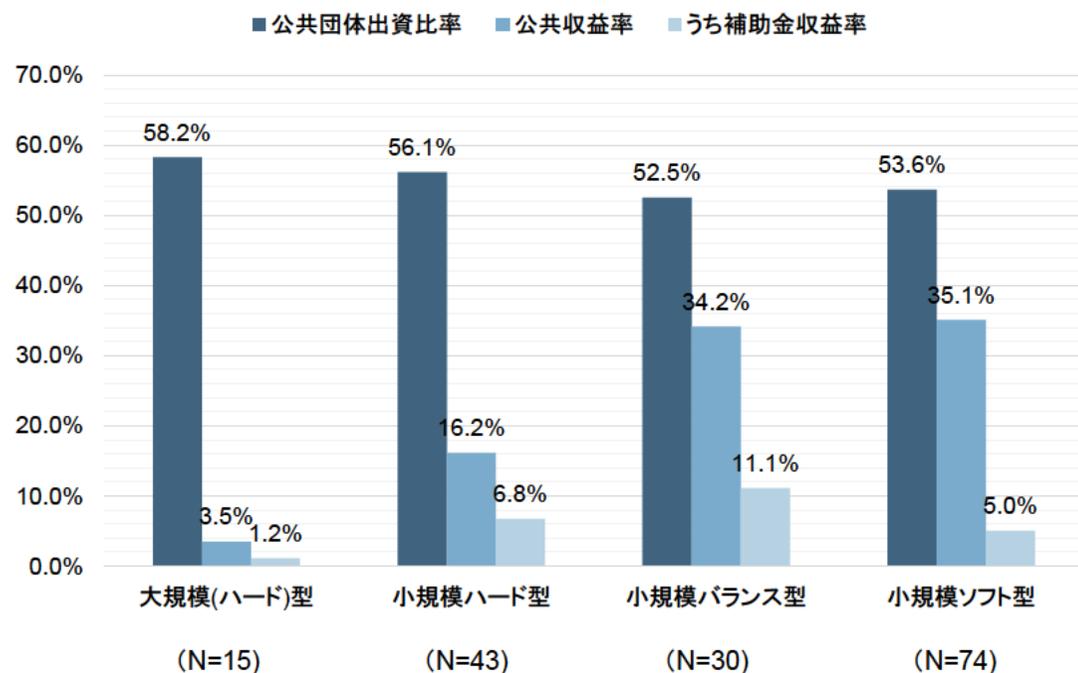
※流動比率＝流動資産/流動負債

(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 4. まちづくり会社の財務的な健全性 | 行政(地方自治体)からの自立性

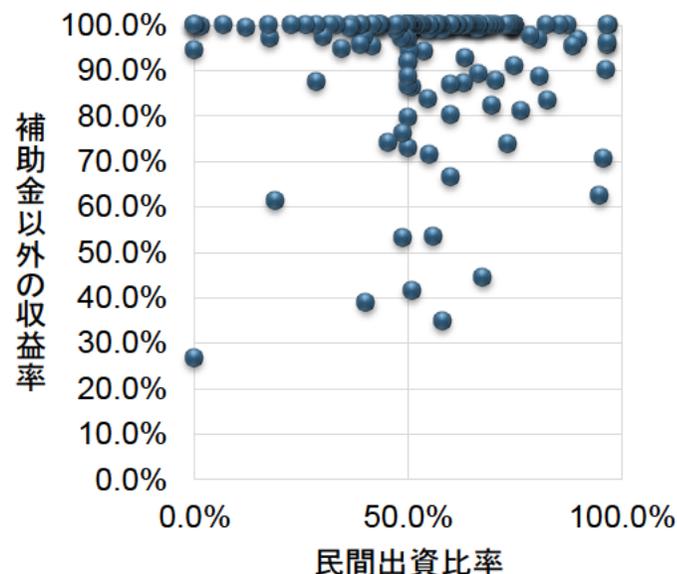
出資比率は、タイプ別にみても大きくは変わらない。経常収益については、小規模バランス型・ソフト型では地方公共団体からの収益が占める割合が3割以上を占める。

- 柔軟な運営を行うため、民間出資比率を50%以上に高める傾向が窺われる。
- 民間出資比率が100%近い団体も存在。

まちづくり会社の行政依存度



行政から自立性



コーディネートニーズに対応できるまちづくり会社として、機能、財務健全性の確立が重要

実態

【基本的な特性・財務構造】

- まちづくり会社は企画・調整以外の業務を複合的に実施
- 2000年代に設立された団体が多く、再開発型から企画・調整型へ変化
- 公共公益法人としては小規模。大半は資産10億円未満
- 小規模ハード型は経営の問題が顕在化

【パフォーマンスと要因】

- 企画・調整役を指向する団体が多いのは小規模バランス型、小規模ソフト型で約7割
- 企画・調整役の機能を果たすためには人材等の非財務条件が重要
- 情報発信力にも企画力が重要
- 地域経済に直接的影響力を及ぼしているのは大規模事業実施団体

【財務的な健全性】

- 小規模バランス・ソフト型では約半数が指定管理を受託。行政収入が3割超
- ハード型は事業リスクが存在。特に小規模ハード型では問題が顕在化
- 経営の自由度を高めるために民間出資比率を50%以上とする団体も多い。

多様な主体のコーディネートを重視する新しいまちづくりニーズへの対応
新しいまちづくり会社の機能性・財務健全性強化／既存まちづくり会社の機能再編

課題

【企画・調整機能・情報発信力強化】

- まちに貢献する事業創造に向けて、基本的には人材、コミュニケーションのしくみ等、非財務条件が重要
- 機能強化に向けた支援環境整備
 - 人材マッチング機能の充実
 - 企画・調整力や情報発信力強化に向けた研修機会の充実
 - 参考になるまちづくり情報の提供

【事業を通じた地域活性化】

- まちづくり会社が地域経済に直接貢献するためには、再開発等の大規模事業を健全に経営することが重要
- 安定的な事業推進に向けた支援機能の充実
 - 事業性評価の徹底
 - 事業性評価ツールの提供
 - 事例情報の提供
- 問題を抱えているまちづくり会社における経営改革・事業構造改革の実施

【財務健全性の強化】

- 持続的なサービスの前提条件として対応が必要
- 財務マネジメント能力の向上促進
 - 人材マッチング機能の充実
 - まちづくり会社の管理会計手法の開発
 - 支援ツール、事例情報の提供
- 小規模バランス型・ソフト型を中心とする財務基盤強化の推進
- ハード系まちづくり会社の経営管理強化

取組への示唆

企画・調整機能や情報発信を通じた地域経済活性化への貢献

- まちづくり会社は、事業創造に向けた企画・調整役や、情報発信の担い手としての役割を通じて地域経済活性化へ貢献している。
- 特に、2000年代には、都市開発を直接担う機関に加え、こうした企画・調整役としての機能を主業務とする送信10億円未満の小規模なまちづくり会社が多数設立されてきた。
- 今回の調査結果からも企画・調整や情報発信は組織規模や事業規模によらずにパフォーマンスをあげることが可能な活動ということが出来る。その効果的な推進に当たっては、地域活性化に貢献する事業創造に向けて、非財務的な推進要因として活動の中心となる人材の存在や、多数の主体の参加、コミュニケーションを推進する仕組みが重要である。
- そのため、まちづくり人材の供給に向けて、以下の支援環境の整備を推進することが望まれる。
 - まちづくり会社と企画・調整、情報発信を担えるマネージメント人材のマッチング機会の充実
 - まちづくりに貢献する事業創造に向けた企画・調整人材の育
 - ・ 企画・調整人材の育成に向けたまちづくり研修機会の充実
 - ・ 効果的な情報発信、コミュニケーションに向けた研修機会の充実
 - ・ 企画・調整、情報発信の参考になるまちづくり関連情報の提供

(3) まちづくり成功事例の調査・要因分析 | (3) - 5. まちづくり会社の課題と取組への示唆

再開発・施設運営等の大事業を通じた地域経済活性化への貢献

- まちづくり会社は、再開発や大規模都市施設の運営等、事業等規模の大きい事業の実施によって地域経済活性化に、事業を通じて直接的に寄与することが可能である。
- ただし、こうした再開発事業等のハード事業は事業リスクがあることは過去のまちづくり会社の破綻事例からも明らかである。今回の調査結果でも資産規模が10億円未満の小規模ハード型まちづくり会社を中心に、経営状況に問題のあることが窺われるまちづくり会社のあることが判明した。
- したがって、まちづくり会社がこうした大規模事業に取組むに当たっては、実現性と有効性を十分に検討して実施することが重要である。都市開発事業の安定的かつ効果的な推進に向けて、以下の取組を推進することが望まれる。
 - 事業支援機能の充実
 - ・ 市場分析、収支見通しに基づく事業性評価の徹底
 - ・ 事業収支の簡易試算等、事業性評価ツールの提供
 - ・ 成功事例、失敗事例情報の提供
 - 既存問題団体の改革
 - ・ 問題が顕在化しているまちづくり会社における経営改革・事業構造改革の推進

まちづくり会社の財務健全性の強化

- まちづくり会社がまちづくりの企画・調整役としての役割を確実に果たすためには、財務的な健全性を確保することが重要である。
- しかしながら、まちづくり会社の財務状況を見ると、小規模ハード型で平均値として繰越剰余金がマイナスになっていること等、十分な経営管理が行われていないと考えられるケースが散見された。
- そのため、組織としての財務基盤の強化、マネジメント強化の視点から、以下の取組を推進することが望まれる。
 - 財務マネジメント能力の向上促進
 - 経営管理が行えるマネージメント人材の登用、育成の推進
 - まちづくり会社の管理会計手法の開発
 - 既存統計等を活用した経営ベンチマークツール等の提供
 - 財務管理に関連した先行事例の提供
 - 小規模バランス型・ソフト型まちづくり会社の財務基盤の強化
 - 駐車場等の収益基盤の強化(非収益事業への内部補助の実施)
 - 事業単位の収支マネジメントの推進
 - ハード型まちづくり会社の経営管理の強化
 - 事業リスク評価の徹底、診断ツールの提供

(4)委員会の開催

実施概要

項目	内容	
名称	第1回人材育成委員会	第2回人材育成委員会
日時	令和元年6月10日(月) 15:00～17:00	令和2年2月26日(水) 14:00～16:00
会場	TKP銀座カンファレンスセンター ミーティングルーム	TKP銀座カンファレンスセンター ミーティングルーム
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 挨拶 3. 委員紹介・座長選出 4. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 資料説明 (2) 平成31年度事業について意見交換 (3) その他 5. 閉会 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 挨拶 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 資料説明 (2) 意見交換 <ol style="list-style-type: none"> ① 座学研修 ② 現地研修 ③ まちづくりオープン会議 ④ まちづくり次世代会議 ⑤ ポータルサイト(街元気サイト)の運営/維持・管理 ⑥ まちづくり成功事例の調査・要因分析 (3) その他 4. 閉会

人材育成委員会 委員名簿

■ 以下の委員にご参加頂いた。

- 足立 基浩 和歌山大学経済学部 教授
- 風張 知子 株式会社デーリー東北新聞社 取締役経営企画室長
- 加藤 博 青森新町商店街振興組合 副理事長
- 木下 斉 一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス 代表理事
- 杉谷 第士郎 オフィスコモンズ代表
- 高本 泰輔 株式会社金沢商業活性化センター ゼネラルマネージャー
- 細野 助博 中央大学総合政策学部 名誉教授
- 村木 美貴 千葉大学大学院工学研究院 教授
- 渡辺 達朗 専修大学商学部 教授（委員長）

（敬称略、五十音順）

NRI

未来創発

Dream up the future.